(明治三十九年八月十一日 第三種郵便物認可)

# 京城日報

## 京城日報 社説

## 朝鮮師團の增設

朝鮮師團增設問題は、識者間に於る、久しき間の懸案として其の解決は、今や一日も緩うすべからざるものがある。大庭軍司令官今回の東上は、專ら之が爲なりしと傳へられ、將軍と陸軍當局との間には、既に腹案成立して、愈本期議會に提出せらるべしとの說がある。朝鮮の邊疆を完うし、極東の平和を確保すべき使命を有せる、我が帝國が、東洋の鎮護地とも謂ふべき朝鮮に、一個又は二個の師團を增設せんとするは、寧ろ當然の沙汰と謂ふべく、吾人は、此の國家喫緊の問題が着々として具體化しつゝあるの觀あるを見て欣喜の情に堪へないのである。

今日朝鮮に取つての第一急務は、何乎と云へば、治安の維持でなければならぬ。齋藤總督は、朝鮮統治の大方針を、積極的文化政策に置き、同時に著々實行しつゝあるも、治安が常に攪亂されてゐては、其實績を擧ぐることは困難である。乃ち徹底せる文化政策を進行する爲には、根本的治安の維持を先決問題とせねばならぬ。總督府が、其豫算の約三分の一に相當する、巨額の經費を、警備に消費しつゝあるは、決して不思議ではない。然るに吾人の屢論じたる如く、朝鮮の治安は、滿洲奧地の不逞漢に依りて、常に攪亂さる、觀がある。隨つて之に備ふることが、最も必要であるけれども、蜿々三百卅里に亙る、鮮支の國境を僅々三百有餘の巡査を以て守備せんとするが如きは、頗る困難な事である。然も總督府の警察力は、現在の所此れ以上の勢力を、此の方面に割くことは頗る困難のやうである。吾人は、國境の守備は、純然たる國防事業として、國家が直接守備の衝に當るべきものではないかと思ふものである。然らば總督府の警備機關は、單に助長行政機關として、其の機能を發揮せしめ、以て文化政策の徹底を圖らしむることが能きるのである。

齋藤總督來任して所謂武斷政治の圈內より出で、文化政治の第一期に入れる今日、新に師團の增設を高唱するは、威壓主義に依る武斷政治の舊態に復歸するものなりとの見を抱くものが、或はあるかもしれないが、其れは甚だしき謬見であり、誤解である。叙上の如く、徹底したる文化政策を進むるに、治安の維持が、先決問題となるならば、師團の增設の如きは、好個の對案でなければならぬ。のみならず、我國に比して、殆ど三分の一の面積を有し、然も國境を有する朝鮮に、僅に二個師團を配置してゐると云ふ事は、帝國師團の配置の上から見ても、又國との均衡上から見ても、現在內地にある一個又は二個の師團を、朝鮮に移駐せしむるとは、決して當み得ない。若し夫れ師團縮小の問題となれる今日、或は多少の非難を免れないかも知れないが、現在せる內地師團の移駐に至りては、派遣費其他に多少の經費を要するは勿論なるも、前者に比すれば、其の手數の簡易なるのみならず、急速の實行が期し得らるゝのである。文化政策の徹底を圖る先決問題たる此事は、朝鮮治安の維持、國防に於てをや。吾人は速かに其實現を待つものである。

## 文化生活と教育（四）

京大教授文學博士 小西重直氏

### 偉大な背景と

第一に自發的の衝動時代第二に感覺的の時代第三の悟性的時代此三段の階級を順次に經て第四段の理性的階段に至つて始めて眞の文化的生活であるが夫れ迄は未だ眞の文化ではないと思ふ所謂文化と云ふ意味には相當の理論に基き相當の方法に依つて我々が價値ある生活を造り上げて行く其價値ある生活と云ふものは自己の特色を認めて居るけれども尚ほ普遍的なる價値を有つて居るのでなければならん然うと云ふ譯であるから第四段目の理性的態度に於て初めて眞の文化生活が現れて來るのだと思ふ。一例を言ふと字でも繪でも同樣であるが假に畫家が繪を描く場合に初めは自分の描いたものが旨く紙に入らない。字でも亦然うである書家が字を書く場合と却々書いた字が紙に入らない。併し夫れが上手に入つたとしても未だ不十分である。夫れが更に進んで畫家が描いた畫面と云ふものが宇宙の全體の空間と、其の空間と聯絡して無限の空間に上手に入つて居ると云ふ風な一致する緒が眞の美を發揮した繪であると思ふ。種々綸もあるが然ういふ事も眞の美を發揮するの途であらう、之は一例であるが左樣に物には總て順序がある。文化生活と云うても細かに分ければ種々あるが凡そ今私が言ふた順序を經て然うして眞の文化生活に移る特色は有つて居るけれども其處に普遍的の價値が起つて來ると云ふのが文化の眞の意味である。其處で大體斯樣に

### 文化の形式的

意味を徹底して置いて茲に次ぎの問題は文化內容の問題であるが文化の內容は其の根本は矢張り眞、善、美、聖の此四にあるが是が文化內容の主なる者であつて此四のもの、內容が充實し完全になつて居るものが之が絕對であると思ふ。併し現實界に於ては然ういふ文化內容が悉く完全になつてそれが一體として一の絕對を造ると云ふ事は殆ど出來ない事である。是は

### 相對的關係

のもので、あらうと思ふが先づ之は現實界に於ては前に言ふた自發的衝動感覺的態度其の次ぎに悟性態度が現實其の理性的生活と云ふ態度であらうと思ふ。更に云ひ換へれば形式に於ても內容に於ても然ういふ理性的の生活界に於ける眞の文化の意味ではないかと思ふ。隨つて斯かる意味の各方面の仕事に當嵌めて見ると自ら其處から

### 眞善美聖と

いふ風なものを如何に體現して居るかと云ふ度合に依つて各方面の文化の價値が決まつて來る。例へば教育事業に例を採ると教育に於ても衝動的の教育もあり得る、又感覺的教育もあり得ると共に悟性的教育もあれば眞の理性的の所謂眞の文化的の教育もあり得るのである。

### 衝動的教育

といふのの範疇は是を變ふれば文化內容の眞善美聖の眞といふ方に於て見ると衝動的教育といふものは未だ理論が決まらない。即ち原理がなくして唯其處に子供が居るとすれば何んとなく自發的に無意識に何の案も考へもなく自然に其處に一つの物を教へてやらう。學ばうといふ本當に自然のものが出て來る。如何にすれば此の子供が立派な者になるかといふ反省もなければ又實行する原理もない。斯樣な幼稚な狀態は何れの國、何れの民族に於ても必ずあつた時代があると思ふ。

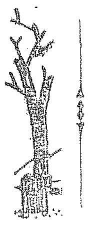
## 郵便物の肩書

大阪より 矢野義二郎

年末年首に當つて公衆より差出す郵便物を見るに今猶單に國名を肩書させるもの少なからず殊るに臨時に採用せし小、中學校等の生徒の多くは國名のみにては其所在地を半分以上知らざるもの少なからず例へば豆州とか相州とか或は若狹國とか伊賀國とか肩書せし郵便物は何縣宛のものの所在地を半分以上知らざる小中學生の多き有樣に御座候又鐵道于係の人々及運送業者の如きは單に出發線何驛とか名古屋驛とか其他鐵道線路を肩書せるもの多きも之れ亦小、中學生にて知らざるもの多きは當然にして軍人出身者の如きは單に聯隊名のみを肩書せる郵便物も少なからざるも之れ亦臨時事務員には分り兼ぬるもの少なからず候要するに郵便物の肩書は成るべく府縣名を記載せられたきものに候

## 雞林百話（十二）

劍花坊



これは戀では無いが菅原道眞の鳴けばこそ別れを急げ鷄の音の聞こえぬ里の曉もがなの歌は、今に至るまで、其里に鶏が鳴かない。即ち鷄を飼へば祟がある。こいふ傳說のこした、河內國土師の里で例の淨瑠璃で東天紅の段と云ふ惡漢が出るなどで演る。菅公が手製の木像が靈威を顯はす、といふ作意だ。

夜もあけばきつにはめなんくだかけのまだきに鳴きて夫をやりける

夜があけたらあの鷄を捕へて、き込んでやらう、あいつが鳴いたばかりでまだ別れもしない情人を去なさねばならぬことになつたからといふのだ、隨分にこつては災難な話だが、田舍女の情を見せた伊勢物語の筆は活きてゐる。馬鹿がこのきつ(水漬り)にはめ(陷める)を、狐に喰めと當字で解釋したのはおかしい。

## 三冬吟（其の七）

大正九、十二、四

足袋 草綠

○我足袋に夜の雪か、る暗さかな 紫光

○宵心靜かさうれし足袋をはく 蘇城

○足袋に縮した、か入れて老猫王 稔貢子

○亦仕舞足袋の汚れを憚らず

足袋稍し少し步りけば道埃


本紙定價 一箇月金壹圓七拾錢(?) 一部金五錢 郵稅共

廣告料 普通五號活字一行一圓 特別二號活字 ……

京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社 印刷人 小川三之介 電話番號長六千九番 長六千九二番 (振替京城三〇二)

料理の友 二月號

婦人纖手の偉力 大隈侯爵夫人

偉大なる人ミ母の化

紀元節の晚餐獻立 一家節分の御馳走

會席料理 歡迎する廣東料理

懇親會催しスッポン料理

野鳥料理御馳走 洋食獻立

大日本料理研究會

財團法人 工業教育會

東京工學校

工學講習錄 機械科・電氣科・建築科・電氣科 自下入學の絕好期!!

東京神田三崎町

代議士高柳淳之助先生著

金錢利殖法の極意

貯金研究社出版部

新聞 日刊 天業民報（新聞紙 專用紙）

形狀は小にして其內容の甚だ大なる新聞 何事よりも緊切至要なる記事のみの新聞

「日本國體の研究」田中智學

天業民報社

珠算責任養成

朝鮮の匂ひ

ウツボヤ書店

東京 滿鮮 日本自動車學校

生徒募集 京城醫學專門學校

講談 和魂宣傳 乃木傳

賜天覽

明治天皇御一代の名將 乃木大將

文泉社出版部

萬年筆修理 白金付替

大阪屋號

最新刊

慈愛之淚 新比翼塚 大地の呻吟 書畫骨董鑑賞と鑑定の仕方 名僧の戶籍調べ 惠比須と大黑 現今の資本 偉人の戶籍調べ

滿鐵京城管理局

不引取貨物競賣

商業登記公告

京城地方法院仁川支廳

南光社の受驗準備書

算術問題集 讀方問題集 日々の練習 算術の根本練習 出さうな問題と其模範答案 誤り易い算術問題とむづかしい算術問題 讀み方 合本復習と受驗 受驗と復習小學全科勉強の仕方 小學五六學年用自習辭典 中學・師範・高等女學校・實業學校入學受驗準備號

發行所 東京市牛込區矢來町四番地 南光社

ラーヂ萬年筆

宮內省御買上之榮 各宮殿下御買上之榮

ラーヂ萬年筆の名望 信用今や天下に溢たり

特約大店販賣所 酒井長次郎商店

意氣軒昂の二月號

新青年

大統領の名探偵振り 朝川浪浦

大氷海を突破して 大戰未來記 優勝旗の紛失 航空界の開拓者

露帝虐殺の眞相 マックラー大尉

東洋の眞珠王 御木本氏 勞働の兩面觀 東京闇黑通信 東京市政

博文館

滿誌緊張の二月號

家庭雜誌

九番館 長田幹彥

不幸の境を過ぎた幸福にし經驗 兄の出世の犧牲となつた私 父業に禍された女の死 迷信に過つた姉妹

祕密を有つた良人に仕へる苦勞

夢の女 岡本靈華

二代の戀 渡邊霞亭

博文館

新築移轉

京城府南大門通二丁目九番地

株式會社第一銀行京城支店

一月二十四日ヨリ右新館ニ於テ營業仕候

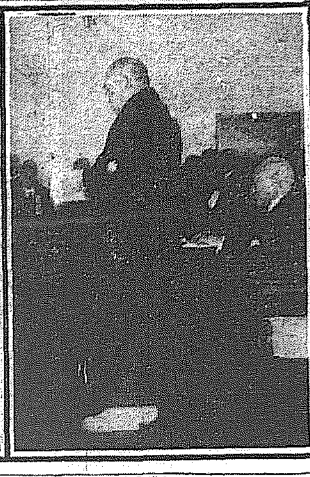
電話 長 六一一番 營業用 三八一番

★★時は來れり斬新なる 衛生防寒中着

外氣に觸ることなく衛生的なり 溫かいこと羊毛鳥毛に劣らざるなり 強靱力に富み薄く輕く着心地よし 價格廉にして實用的必需品なり

チヨッキ型定價貳圓六拾錢 ジユバン型定價金二圓七拾錢

東京市牛込區 大喜合名社



**議會を前に** (上)得意の笑を洩す政友會のお歴々――右より原總裁、大岡、小川、野田、杉田、元田の諸氏 (下右)加藤憲政會總裁の獅子吼、その後は箕浦氏(下左)食事の間にも作戰に耽る犬養國民黨總理

## 第四十四回帝國議會

# 加藤子陣頭に起つ

### 舌鋒頗る鋭く敵味方とも鳴を靜めて謹聽 貴族院質問戰

二十四日の貴族院は加藤憲政會總裁と原首相の一騎打が呼物となり傍聽席は早くも滿員となる後藤男も永田市助役を伴ひて來聽議場は近來に無き緊張を示せり仲小路廉氏自席より西伯利撤兵及同地の赤化に就き質問し原首相は西伯利の赤化は他國の領土なれば如何ともする能はずと答辯し斯くて加藤子の順番となる加藤子は紋服姿にて登壇國際聯盟問題より說き起し西伯利出兵對米對支外交より內政問題に亘り一語一語銳く斬り込み議場傍聽席共鳴を鎭めて謹聽す(廿四日午前十一時發至急電報)

## 日英米三國 海軍協定案

### 造艦休止案とは別物

(華盛頓二十一日發電)上院議員ジョセフアイブランス氏は日米英三國は一千九百三十五年までに各自國の海軍を四分の一に縮小すべしとの提議を上院に提出せり同提議には今より千九百三十五年まで漸減的に海軍縮小を實行する方法を協定するため該三國より聯合委員會を任命せしむるの規定を有する事をも記しあり

## 加州問題に對する 日本の主張

### モリス大使の演說

(紐育廿二日發電)駐日大使モリース氏はユニヴアシチー倶樂部に於て加州排日問題に關し一場の演說を試みて曰く

日本は加州及び其他の西部諸州が單に財產權のみならず身上權をも保有する資格の有無によりて外國人を差別待遇する事になりはせぬかと懸念して居る日本政府の主張する處は或る政治上の權利を行使し得るの能力なき特種の外國人に對して其他の凡ての外國人が保有して居る權利を與へないのは不當であり又公平を缺いて居ると云ふのである日本政府は在米日本人が米國市民となる權利を與へられぬからとて抗議して居るのでもなければ又米政府が條約に規定されし義務に違反せざる限り日本人の米國入國若しくは居住に關して其の適當に認むる程度に於て或る制限を加へんとする法律を制定する權利迄もないと考へて居るのでもない又日本政府は日本人の移民入國制限を撤廢せよと主張もしない米國と東洋との關係と云ふ一層廣い見地から觀察すれば日本に對しては自ら明確に決定すべき問題がある故に市民權の有無によりて日本人を差別待遇するが如き事は決して米國として賢明な措置でない

## ア州でも土地案

(リットルロック二十二日發電)アルカンサス州議會下院に外人土地所有禁止法案提出さる

## 日本問題調査

(華盛頓電報)米國上院外交委員會はヤツプ島問題と共に山東西伯利問題を審議調査中なり

## 米の常備軍

### 人員十七萬五千

(華盛頓二十二日發電)英は米國陸軍の平時人員を十七萬五千名と定めたる下院の決議案を可決し同決議案は批准を受くるため大統領の手許に廻附さる、筈なり

## 聯盟理事會

### 二月末ゼネバで開催

(ゼネバ二十一日電發)次回の國際聯盟理事會は來る二月二十一日當地に開會する事に決定せる旨公表せらる而して九月開催さるべき聯盟總會に提出すべき報告書を作製するため數個の委員會の任命を見るならん

## 獨賠償物件

### 賠償委員會の公表

(巴里二十三日發電)賠償委員會は獨逸が初年度に於て聯合國に引渡すべき物件目錄を發表せり右の內石炭一千七百七十一萬八千八百四十噸染料一億一千〇七十八萬七千八百二十七基瓦汽船帆船及び漁船二百〇五萬四千七百二十九噸牛二十六萬百七十六頭車輛四千五百七十一輛鐵道貨車十二萬九千五百五十六輛荷車五千輛据付鐵道材料一萬四千噸等を含めり

## 露波條約不承認

(倫敦十八日發電)波斯王の退位は確かならざれども莫斯科政府と締結せる協定は波斯內閣瓦解の因をなし新內閣組織中の模樣なり英國軍隊が旣に北部波斯より撤退せりとの報道は尙早なり而して英國が其の軍隊を同方面に維持する覺悟を捨てざる限り波斯と露國勞農政府との條約の如きは英國の棄却する所となるべしと信ぜらる然らずんば波斯は保護を南方卽ち印度政府に求めずして過激派露國に求むべく且つ露波(波斯)條約にしても成功せば波斯に於ける英國の勢力を滅盡すべし

## 新內閣信任

### 佛國下院で可決

(巴里電報)佛國下院にてはブリアン新內閣の信任投票を行ひ大多數を以て之を可決せり

## 伊國の亂擾

### 各地に血を流す

(倫敦二十二日發電)伊太利來電に依れば國內各地に於て政治的若くは宗敎的の騷擾起り武器を以て應酬し居れり例へば農民の失業者はタスカニアに於ける大寺院を襲擊し祭壇やキリストの胸像を破壞し又一群集はナポリ灣に面せるカステラマレ市の市長を襲ひし爲め參事會員及商人等は露臺より群集に發砲し或は爆彈を投ぜしより死者八名負傷者十五名を出し又或牧師は銃彈を受け危篤なり

## 印度に大暴動

(倫敦二十二日發電)公報によれば印度ベンゴール州ザツフエルプール地方に重大暴動起り市場は掠奪せられたり此暴動の首謀者又は扇動者は非協同運動同情者なりと信ぜらる

◎アラハバツチに暴動再發し事態重大なりリアウドの一市フエーザバツトにては家屋六十五戶掠奪され逮捕せられしもの二百名あり武裝警官は村落を巡邏し居れり目下形勢極めて不穩なり

◎アラハバツトに於る非協同運動の火の手は今やベンゴール州ダツカ迄擴大せり大學生は學業を受くるを肯ぜず空廳の產地に於ては「何人も耕作に從事するな」と勸誘せる小冊子を盛に撒布しつゝ有り

## 佛內閣と法王

(巴里二十二日發電)下院に於て新首相ブリアン氏は羅馬法王廳との關係復活に贊成すべしと言へり

## 波斯內閣留任

(倫敦十九日發電)テヘラン發電によれば波斯首相は辭表を撤回したりと

## 蒙古農牧計畫不成立

### 大倉組と張使合辦事業

(奉天二十二日發電)張作霖氏個人と我が大倉との間に三年間の交涉を費して蒙古バインダラ附近の土地一千萬里(約我四百萬町歩)に農牧業を經營すべく資本金八百萬圓の開發公司を組織し既に相互の協定を遂げて成立を見るに至り大倉男は昨年十二月廿五日資本金四萬圓を送附し來り內二百萬圓を同月卅日張作霖氏に交附せんとする間際に我外務省は突然此合辦事業に對し差止命令を大倉男に下し本月六日を以て右計畫は遂に不成立に終れり

## 關稅增徵期

(北京電報)支那政府の關稅增收實施期は來る三月一日と確定す

## 邦商聯合大會

(上海電報)支那在留日本人聯合大會は二月十二日より三日間上海に於て開催すべし

## 朝鮮問題講演會

### 鮮人學生の傍聽多し

二十三日午後六時京橋區南傳馬町星製藥會社樓上にて東西協會主催の朝鮮問題に對する講演會あり男爵石本惠吉氏の亞米利加に於ける鮮人の狀況及大場加公氏の露西亞の現狀より鮮人の覺醒を促す意味の講話あり在京鮮人學生の多數出席ありて其筋の警戒嚴重なりしが同十時無事散會せり(東京電報)

## 佛國の『朝鮮』 アルゼリヤの概況 (三)

總督府技師 稅田谷[illegible]郎

### 三、同化政策(上)

アルゼリアに對する佛國政府の同化政策は種々の方面より之れを試みられて居る、其主なるものを擧ぐれば(一)中央集權主義に依りアルゼリア行政を母國政府に統一せむと努めたること(二)統一豫算主義に依りアルゼリア豫算を母國政府各省に分屬せしめむと試みたること、(三)アルゼリアに出來得る限り多數の母國移民を送り此方面より同化を促進せむと試みたること(四)母國との間に統一關稅を實施したること(五)佛人と土人の混合敎育、(六)土人に佛國市民權の許容等であつて、政治、經濟、敎育其他各方面より試みられて居るが、其內で統一關稅制度の實施丈は明かに成功して居るけれども其他は豫期の效果を奏して居らぬ樣である或もの、如きは全く失敗したのもある。

之れを略說すれば(一)中央集權主義に依りアルゼリア行政を母國政府に統一し行政上よりアルゼリアの同化を圖らむとして或時はアルゼリア政務を母國政府各省に分屬せしめて總督の權限を縮少し、總督は一つの飾りに過ぎぬ樣になし、又或時は全くアルゼリア總督を廢止し之れに代ふるに母國政府にアルゼリア大臣を置きたることなどもあり、所謂手を代へ品をかへて此目的を達成せむと努めたけれども此れ等强度の同化政策はアルゼリアの事情に適せず、常に失敗に歸し其實行期間甚だ短期にして改められて居る。之れはアルゼリアと母國とは人種、宗敎、風俗、習慣、民度、文化の程度、產業及び經濟の狀態等しからざるアルゼリアの各種の政務を其事情に通ぜざる遠き巴里政府より之れを指揮するの困難なるを證明するものである

私共は我內地に旅行中智識階級の內地人にして尙ほ朝鮮の事情に暗きこと實に豫想外なるを發見することが屢々ある、朝鮮と內地とは人種も同じく文化の程度、經濟及び產業の狀態等もアルゼリアに於けるが如き差異はない然るに內地人の朝鮮の事情に暗きことは豫想外である私は佛國政府のアルゼリアに對する中央集權主義の失敗は偶然でないと思ふ現今に於てはアルゼリア行政は一二の除外例ある外は悉くアルゼリア總督に依り統轄せられて居る(二)統一豫算主義に依りアルゼリアに於ける特別豫算の編成を廢止し母國政府各省の管理に分屬せられしこともあつたが其結果却て不整理を來し、アルゼリアに關する費用は非常に膨大したる爲再び特別豫算編成の必要を感ずる樣になり遂に今回の如き特別豫算の自治制度となつて居る

## 東宮御渡歐期

### 三月の內定

皇太子殿下の御渡歐は三月御出發各國御歷訪の上來る十一月御歸朝遊ばさるゝことに御內定相成りたる由洩れ承る(東京電報)

## 常平倉案行惱

### 兩省の意見扞格

常平倉案は農商務省と大藏省との意見一致せざる爲め草案の閣議提出迄には尙幾多の紆餘曲折あるべし(東京發電)

## 道が社會事業を

### 恩賜金を利用して 計畫し府協議員へ諮問

京畿道廳にては豫て恩賜金二萬五千餘圓を以て社會救濟事業として適當なる計畫を考査中にて昨年中東京大阪方面にも職員を派して實地調査を遂げたるが過般道府評議員の選任ありたるを機とし汎く考案を求むべく廿三日付各道府議員に考案回答方を求めたり右に對し議員側は廿六日某所に會合して協議を遂げたる上答申すべきことに略決議せるが道廳に於ては之は好ましからず尙各人別個の意見を徵する希望なりと

## 朝鮮の鑛業を救はう

### 沈衰のドン底から とて鑛業會が手を分けて其振興策を調査研究

臨時朝鮮鑛業調查委員會は二十三日午前十時より朝鮮鑛業會に開會、理事長川崎繁太郞氏開會の趣旨を述べ續いて同氏を座長に推して議事に入る決定せる調查要項並に委員左の如し(委員長)川崎繁太郞

▲第一部 各國鑛業政策に關する件(部長)津田鋭雄(委員)若渡信太郞、原勝一、松本正寬、熊本吉郞、村田素一郞、吉田節太郞、石垣清、藤井圓太郞、宮島彼雄、鈴木哲郞、鈴木一來、小林藤右衛門、エー、マール、アイゴール、エツチ、ゼー、エル、ゼフマートルイ、ロンドシ(理事及監事)アルフ、ウエルヘブン、葛原益吉

▲第二部 金銀銅鑛業の振興策(部長)川鍋鐵馬(委員)荒井初太郞、吳倫馥、石垣清、尹基益、吉川岩喜、土岐源二郞、大島十郞、尾山直治、谷口與四郞、松本勝太郞、松井民次郞、小林藤右衛門、ルイ、ロンドン、[illegible]、田村英太郞、塚崎由太郞、葛原益吉、山田正雄、藤原弘、富田儀作、久保順吉、エー、アール、ツイゴール、野附勤一郞、八卷隆三、木[illegible]治、エツチ、ダブリユー、デビソン、志岐信太郞、大住文次郞、上田徹、ゼーエル、ゼフコート、鈴木哲郞(理事及監事)

▲第三部 鐵鑛業の振興策(部長)松田貞次郞(委員)淡輪雅信、麻生音波、小幡睿治、蒔田一枝、富田儀作(理事及監事)

▲第四部 銅鉛鑛業振興策(部長)小瀧元司(委員)尾山直治、野附勤一郞、八卷隆三、志岐信太郞(理事及監事)

▲第五部 黑鉛鑛業の振興策(部長)中川湊(委員)福井武次郞、石井久三、谷口與四郞、藤山定七、松本勝太郞、野附勤一郞、小宮萬次郞(理事及監事)

▲第六部 石炭鑛業の振興策(部長)西崎鶴太郞(委員)土岐源二郞、麻生音波、吉川岩喜、松井民次郞、山田正雄、蒔田一枝、秋重德太郞、佐瀨熊鐵、上田徹(理事及監事)

▲第七部 重石、水鉛鑛業の振興策(部長)川鍋鐵馬(委員)志岐信太郞、鈴木哲郞、石垣清、富田儀作、荒井初太郞、原勝一、松本勝太郞、尾山直治、野附勤一郞(理事及監事)

▲第八部 其他雜鑛物に關する件(部長)中川湊、原勝一(委員)鈴木哲郞、石垣清、上田徹(理事及監事)

右各部を通ずる調査事項たる採掘、運搬、製錬及選鑛、金融、販路等に就き各自より意見の發表あり黑木鑛務課長は鑛業會有志より當局に陳情せる項目に關し當局詮議の經過を開陳し官民一致斯業の振興を策せん事を希望せり畢つて鑛業振興に關し各自の抱持する忌憚なき意見の發表あり午後四時委員會は一先終了各部會を開催し午後六時散會せり

## 資料供給を望む

### 鑛業會理事 津田鋭雄氏談

朝鮮鑛業會に於ては二十三日午前十時より午後六時迄調査委員の大會を開會したるが同會に於ては目下鑛業の不振を恢復し發展せしむる爲め部を七部に分ち金、銀、銅、鐵、黑鉛、石炭其の他凡ての鑛物、土石に涉り調査研究することゝなり各方面より其の資料の供給を得ば幸の至りなり余の擔當せる第一部の如きは各國の鑛業政策及戰時並戰後各國政府の鑛物に對し爲せる保護政策及世界各國の鑛業團體が其の政府及關係方面に向て要望せる點を調査研究し朝鮮鑛業法規の根本的研究をなして總督府に向ひ保護獎勵を希望すべき重要なる問題を研究するは誠に其の範圍擴くして困難なりと雖幸に部員中には多年實地鑛業に從事して苦心を重ねたる內鮮鑛業家あり又外國人經營の諸鑛山の代表者あり又鑛業政策に沒頭せられ又せられつゝある村田、川崎前鑛務課長、現黑木鑛務課長及鑛務當局の事務官、技師あり朝鮮銀行の吉田理事、東拓鈴木支店長の如き其の他知識經驗を有せらるゝ方なれば幸に此調查も研究も全ふし得べきか大方諸君氏の鑛業會に向て其の御意見、材料を多く送付せらるゝ事希望に堪へざる次第なり

## 課稅問題と仁取

### 重役會では斯う決した 若松所長の談

課稅問題に對する仁川取引所の態度方針に就ては過次の重役會に於て略決定する處あり卽ち當初より取引所課稅の止むを得ざるべきを承認せるを以て取引所としては此際何等運動ヶ間敷行動を執らず課稅に伴ふ手數料引上げの如きも株主の利益擁護の上より見れば相當の陳情懇願を爲すべきを通例とするやも知れざれど現在手數料額以上に增額を懇望する如何かと思はれ結局取引所としては新稅に對して何等別個の增收を策する事なく其全額を負擔する事とせり而して之が爲め取引所全體の業績其他に大なる影響を來すべしとも思はれず

仲買人に對する課稅問題に就ては從來とても相應に其の結果の如何を憂慮し總督府當局に向つても努めて同情ある施措を求めつゝありしが更に將來に於ては一層該問題に關し仲買の利益擁護に充分の考慮を希望するは勿論重役は何れも總督府に對して可及的課率の輕減を懇請する事とせり唯其手數料問題に就ては尙ほ課稅內容の闡明ならざる今日無暗に運動を試みるも如何かと思はるゝを以て其內容の決定を俟つて之に相當する手數料引上を極力懇請せん事を期せり總督府に於ても此際此情は充分之を容れ決して仲買の利益を蹂躪するが如きは斷じてあらざるべしと信ず(仁川)

## 京城商議豫算

京城商業會議所にては十年度豫算編成を了し來る二十九日評議員會を開催する運びなるが本年度豫算額は六萬一千百三十八圓にして之を前年度に比するに一萬五千二十圓八十錢の減額を示せり減額の主因は前年度に於

## 官制發表期

朝鮮總督府官制改正の件は旣に樞密院を通過し御裁可濟となりたるを以て明二十五日附を以て發布せらるべしと

## 大分に總督府出張員事務所

### 共進會開會の爲

四回九州沖繩八縣共進會に關し總督府出張員事務所を大分市魚町六百四十七番地に開設し同共進會に交涉すべき者に對し便宜を計る旨廿四日殖產局長より各道知事に宛て夫れぞれ通知ありたり

## 家畜專用車增設

京管局にては近時家畜輸送頻繁なるにも拘はらず家畜車現在僅に二十四輛に過ぎず止むなく有蓋貨車を代用し居れるも其都度家畜輸送設備取付取外しを要し爲めに車體を毀け且車內の汚損する事甚だしく不利少からざる爲今回郵便緩急車十輛を專用家畜車に改造使用することゝなりたり

## 西伯利人觀光團

### 二十五日夕來城

バンキール民代表者クルバンガリエフ氏外十名は日本觀光の爲め二十三日哈爾賓を發し二十日朝長春發列車にて南下せるが直

## 米安で朝鮮農民

### が續々內地へ渡航する 每航八十名を下らぬ

朝鮮の正月を目前に控へた此頃は每年內地に出稼して居る鮮人が歸國する者多數に上り關釜連絡船の如き往航便の滿員に反し復航便には鮮人乘客皆無の有樣であるが本年は之と全く反對で內地移住鮮人每航八十名以上に達し歸國鮮人は其三分の一にも過ぎないと云ふ奇現象を呈して居る內地移住鮮人の多くは農民で大部分は大阪及九州方面で勞働に從事するらしい一鮮人は『朝鮮は不景氣の上に米價を下して居るので到底生計が立たないから寧ろ內地で勞働に從事する方が生活の安定が得られるので移住する譯である』と語つて居た

## 寸碧

▲加藤憲政會總裁が其大會席上朝鮮問題に言及して『民心惡化の原因は主として內部にあり卽ち朝鮮統治の方針を誤れる事之なり』と云つて居るのは甚だ以て可笑しい▲朝鮮統治の方針は齋藤總督が就任の當初聲明した通り『一視同仁の聖旨を奉戴して二千萬の新同胞に皇化を普及し三千里の江山に平和な樂土を建設』するにある、朝鮮統治の方針は之より外にない筈だ▲之が誤つて居るならば世の中の事は皆誤つて居る、然しまだ石が流れて木の葉が沈んだと云ふ話は聞かぬから不思議……▲お氣の毒だが民心惡化の原因は外にある、而も一黨の首領ともあるものが斯んな淺薄な觀察を下してはならぬ。もつと事相の眞相を究め政黨政派を超越してコウメイ(公明)な斷案を下さねばならぬ▲さは、總督府の官[illegible]

## 人事消息

▲岡今朝雄氏(總督府土木課長)一月十日附[illegible]出張を命ぜらる

▲山岸睦造氏(總督府技師)十一日附京城出張の序を以て忠南北兩道及慶南北道へも出張を命ぜらる

▲伊賀武彥氏(總督府秘書官)[illegible]二十四日[illegible]

▲永見俊助氏(工兵第二十大隊附大尉)二十三日夜[illegible]へ

▲柏原滿雄氏(步七九附少佐)[illegible]二十三日夜歸城

▲久野直氏(陸軍技師)今回[illegible]部附を命ぜられ二十五日朝七時[illegible]

▲小野瀨平兵少佐 今回工兵第二十大隊附を命ぜられ着任

▲大野忠次氏(看守長)[illegible]主任として[illegible]

▲森野信次氏(通化領事館分館長)[illegible]二十三日夜京城發北行列車にて赴任

## 公會私會

◎工藤知事新年會 工藤京畿道知事は廿四日午後五時より京畿道警察部道廳課長連を朝鮮ホテルに招待して盛大なる新年宴を開催すべし

◎香川縣人新年宴 廿六日午後六時より京城倶樂部に於て開催し[illegible]

◎滿洲鐵道運輸所長會議 滿洲鐵道運輸事務所長會議は來る二十六七日頃大連本社にて各運輸事務所長會議を開催すべし

## 記念品贈呈

京城府にては今回府制改正に依り退任したる前府協議會員等に對し其在任中の功勞を表彰し廿三日銀製[illegible]一個を夫れぞれ贈呈せり

## 齋藤顧問來城

吉林督軍顧問として八月中旬來滯在中なりし齋藤大佐は三十日午後七時來城朝鮮ホテルに入り軍司令部を訪問事務の打合せを爲すべし

## 道書記講習會

內地人道書記講習會は一月廿二日より二月十二日迄十三日間永樂町法制研究會に於て開催さるべく會員八十五名にして講師は總督府事務官擔任すべし

行することせば二十五日京城に來城すべし

## 啣へ煙管

□此程開かれた全鮮小學校長會議で『中等學校競爭入學試驗より生ずる弊害を除去する方法』について懇談熟議を遂げた事は旣に報道しておいたが一部論者の中には是を以て甚だ詰まらぬ、愚の骨頂だと云ふものがある

□其の理由は、受持敎員が一人でも多く自校から入學者を出さうと努めるは當然の話で、其の結果兒童に對して試驗前特別に豫習を施すのは決して排斥すべきことぢやない、否却て敎師の兒童に對する美はしい心情として稱揚すべきことである、又假に自校から一人でも多く入學者を出すことを以て誇りとし名譽と心得る敎員があつても決して不思議ぢやない、寧ろ吾等は之を誇とし名譽と心得ぬものを不思議に思ふ位である

□又兒童の側から云つても敎師が特別に豫習をして吳れるのは感謝すべきことで、僅に一週間か二週間餘計に勉强したとてクタ張るやうな體格では大いに末頼母しくない。何れにせよ、此問題は然う騷ぐ程に力を入れる程の問題ぢやない、我等に云はせれば『競爭入學試驗の弊』ではなくて『競爭入學試驗樣』である。競爭のある所に進步がある。斯んなことで會議を開く校長連の氣が知れぬと云ふのである。

□一應尤ものやうに聞こえるが論者はまだ京龍に於ける『競爭入學試驗より生ずる弊』の實際を御存じないと見ゆる。

## 有婦姦の處罰 と醜業婦の取締

### 質問書提出

に就て議會に請願を爲すべく六百名の贊成を得て其調印を了り目下活動中なり(東京電報)

## 京畿檢米成績

(自廿三日午後六時 至廿四日午後六時)

## 地方時言

### 財界不況と納税

府當局の言によれば仁川府最近納税成績の概して不良に陷りつゝあるは蔽ふべからざる事實で昨年と比較すれば著しき相違を認めざるを得ないとのことである

この主因は昨年四月以來の不景氣襲來に基因する金融梗塞の一事であらう府としては一層周密なる納税の督勵を實行し納期内の納附を促し一面滯納處分を勵行して整理の進捗を計る必要あるは云ふ迄もないが元來納税觀念の稀薄又は納税資金の調達に困難を來す場合は督勵にも充分の効果を納むる事難く從つて滯納の整理も困難に陷るわけで此の滯納者の數が増加すればする程それだけ府の徵收費用は嵩み其費用は又直ちに府民の頭に懸つて來るのである特に資産信用を有する上流階級に多くの滯納者を増加する傾向ありと聞くは誠に遺憾に堪へない（仁川）

### 全州水道の起工

全州にては土地の發展と共に上水道の必要に迫り昨年來極力之れが敷設に付き面長其他奔走に努め大體の設計工費等は道の手を經て其の敷設認可及び國庫補助を總督府に向け申請中の處國庫補助申請額二十五萬圓は三年間に亘り補助し敷設を認可する内示に接したので愈公表あり次第面起債の二十五萬圓を合せ工費五十萬圓を以て直に工事に着手す可く多分四五月頃其の運びに至るであらうと而して工事は大正十二年度竣工の豫定だ程は着手後三年を要す可くこのことである地方衞生設備の完備する所以として祝せざるを得ない（全州）

### 荷衣島紛爭解決

全南務安郡荷衣島は右近家經營當時島民との紛議が絶えなかつたが先頃大阪の德田洋行が同島を買收以來鋭意之が解決に努めた結果此程双方全く和解する事となつて島民の代表者四十餘名と契約書の交換を爲したが同洋行木浦出張所では多年の難問題たる本島の紛爭が滯りなく解決したのを記念せん爲め一月廿二日午後六時から木浦公會堂で來木中の島民代表四十餘名及び關係官憲の主なる人々と德田洋行側と盛なる祝賀會を開催した。地方問題の圓滿なる解決は聞くだに嬉しきことである（木浦）

# 安東材課税の問題

## 新義州製材業者の運動に對し 安東縣同業者の對抗策

（安東縣）昨年八月朝鮮關税改正以來滿洲就中安東縣より朝鮮に輸入する木材中加工品を除くの外原木製材等に對し無税となしたるが當時木材の需要旺盛にして新義州の製材業者は常に貨車不足のため註文に迫はれ居りしと同時に安東材は銀高なりしため何等の苦痛を感ぜざりしが最近に至り

**銀塊益々暴落**し銀對金一兩三圓五十錢を稱へたる當時に比し現在に於ては一圓三四十錢の間にあるを以て安東の木材は總て銀建なる關係上新義州材に比し割安を示し製材物にあつては常に一割がたの低廉なるにより朝鮮方面に於ける製材の需要は常に安東木商の爲めに壓倒せられ新義州製材業者の蒙る打擊甚大なる事は本紙の屢報道したる通りなるが本年一月以來銀價は依然として一圓三四十錢代を上下し更に上伸の見込なきより新義州の木材商は自己の

**利益を擁護**する上に於て狼狽の色ありしが最近に至り現在のまゝにては到底堪へ得可からずとなし寄り〳〵協議中なりしが最近に至り朝鮮總督府に對し木材輸入に對し原木は無税とするも製材物は加工品と見做し相當の課税あらん事を要望す可く取敢ず京城商業會議所に對し陳情書を提出したりとの噂ありこの噂一應安東縣木商組合の知る處となるや安東木商は之れ又一大問題と見做し其對策に就き二十二日午後二時より

**安東公會堂**に集會し種々協議する所ありしが本紙締切迄は具體的成案を聞く事を得ざりしも必ず猛烈なる反對運動を開始するに至るべしこの問題に就て第三者の見地より見る時は新義州木商の取らんとする行動は自己の防衛の爲に止むを得ざる運動と見る可く安東運の反對運動も其對策として又止むを得ざるに出たるは勿論なるもこれを大局の上より觀測する時は其の是非自ら瞭然たるものあるべし是に就て

**某有力者の**語る處によれば製材と加工品と見做さず關税改正の當時無税品となしたるを僅々五六箇月の後に於て有税品となすは法規を朝三暮四にする嫌ひあり且安東縣の無税輸入に依つて打擊を蒙るは新義州の木材商のみにして廉價に供給を受けんとする全鮮の需要者は却て不利益の立場にあるを以て殆ど齒牙にかくべき問題にあらず果して新義州木材商の希望するが如く課税の實行を見る可くや否や最も興味ある問題なるべし云々

### 支廳昇格未し

（新義州）平壤地方法院新義州支廳は大正十年度に於て地方法院に昇格するの噂ありたるも十年度豫算には其經費計上なき由多分十一年度若くば十二年度に於て昇格する事ならん

### 安京長距離電話

安東奉天間の長距離電話は昨年十二月開通し商取引其他に非常の便利となりたるが安東新義州方面の有志は猶引續き安東平壤間若くは安東京城間の長距離電話架設に就て熱心なる希望を抱きおれるがこれに就て某郵便局長の語る所に依れば大正十年度に於て安京長距離電話の架設は問題になりおらず總督府遞信局は積極的施設を爲す前に於て既設事業の大改善をなさざる可からず茲一二年は到底實現の見込みなかる可しと（安東縣）

### 本年流筏豫想

安東縣に於ける某有力木材商の調査する所なりと云ふを聞くに鴨綠江の上流に於て昨年流下不能の後は渾江流域に於て三千臺に過ぎざる可く屢報道したる如く入山者甚だ少く新材の伐採は三千五百臺に上るまじく昨年の末流下材と新材とを合せ全部の流下を見るとしても六千五六百臺に過ぎざれば天候の如何雨量の多少に依り先づ四千五百臺乃至五千臺に上るべしと（安東縣）

### 憲兵隊長謝狀

愛國婦人會朝鮮本部に於て募集したる國境守備警官家族に對し慰問袋の寄贈を受けたる義州憲兵隊長松倉濟次郎氏は愛國婦人會朝鮮本部長水野萬壽子に對し左の禮狀を送りたり（義州）

拜啓歳寒の砌益々御清勝の段奉慶賀候陳者國境江岸警備憲兵警察官及家族の勞苦に對し深甚の御同情を寄せられ之が慰問方御發意相成り此の度數多き慰問の品々御寄贈に預り正に拜受直ちに夫々各隊員並家族に配達の途に講じ申候尙去る二十五日は貴部より主幹大橋氏を御派遣相成り親しく貴會の御誠意と全鮮篤志家の御同情を傳へられ候段重ね〳〵感激に堪へざる次第に御座候此温き御同情を罩められたる賚に接し候は一隊員一同該家族は如何計り喜悦致すべきか申迄も無く士氣に及ぼす効果亦に偉大なるを確信仕候茲に貴會竝全鮮各篤志家の御同情に對し深厚の謝意を表し度如斯御座候　敬具

### 光州高普敷地

光州に新設さる可き私立高等普通學校建築に就ては敷地の買收上地主側と價格の點に於て多少の扞格ありたるも今回郡廳にて當局と地主と會見し一切を解決したる由なれば敷地買收濟の上は直ちに地均しに著手し四月ころまでに校舍の建築を終る豫定なりと（光州）

### 新義州製材所整理

新義州製材所は鈴木商店新義州出張所及増田光平齋藤國次郎三氏の共同經營に係るものなりしも財界の不況に伴ひ整理を要する必要上昨年十二月中京城山本材木店代表者信濃憲一氏に債權し朝鮮銀行の後援により同製材所所有の原木を專ら製材しつゝありと云ふ（新義州）

## 慈惠醫院設置問題に就いて

# 馬山府民蹶起す

## 陳情委員數名の上京

馬山府民は昨年春十年度を以て全鮮に設置さるゝ十三醫院中其一を得んことを熱望し當時總督府に請願書を提出し又一面態々委員は出城して其建設運動に著手し其際要路大官は慈惠醫院ならば馬山は適地ならんと同意されたる由にて府民は土地か衞生的に

**療養的素質**を具備したる上多數官民は皆馬山説に異議なき模樣なりしを以て之に安心し道廳其他の問題は兎も角として慈惠醫院のみは馬山の物たらんと大呑込みに呑み込みて今日に至りしに本春に入りて

**丸山警務局事務官**來馬に際し當地の有志は氏を旅館に訪問して叩くに本醫院問題を以てし總督府として釜山馬山何れに決定されありや願くは馬山に新設を望む旨を懇請せしに氏は曰く

新設地は釜山馬山二ヶ所が候補地となれるも事實は未だ何れとも決定し居らず然るに釜山に行くと釜山民は自地に設立を熱望し馬山に來れば馬山民は又た之を熱望さる頗る一人に婿八人で困つたものなり併し有體に話せば總督府は新設地に就て二説あり一は則ち釜山説にして一は則ち馬山説なり而して馬山説を主張するものは曰く馬山は天與の衞生地なればこゝに特に療養院を意味する慈惠醫院を設置せるは可ならんと則ち特種醫院説有力なり釜山説を主張するものは曰く、釜山は歐亞の關門にして東洋の玄關口なり此地に貧弱なる一府立醫院より無きは啻に釜山としての恥辱のみならず朝鮮としての體面に關す故に全鮮の體面より云ふも彼地に一の完全せる病院を要す幸ひ今回慈惠醫院設立の事あれば是非共釜山に新設すべしと此説は頗ぶる有力なれば馬山

**が特種醫院にても可なりと言はゞ或は釜山説を轉覆し得ん**普通慈惠醫院としては條件有利なる材料を得て之れに度するにあらずんば到底打ち克つ能はざるべしと信ずと語れり

其矢先釜山某新聞に事務官知事三部長府尹等は醫院敷地檢分の爲め打揃ふて某土地を視察せしことありたるに徵し彼是れ符合の點多きを以て馬山民の失望一方ならず其後

**佐々木知事の歸任**を擁して多數の有志は知事を訪問し一問題に就き意見を叩きしに未だ釜馬何れとも確定せず又自分等が敷地を檢分せしことあるも無根の記事なりと非認されたるも知事として特種醫院の外には此際馬山に設立の理由を有せずと主張さる、等諸氏の說を綜合すれば馬山は到底絶望なるが如きに府民は大に落膽すると共に蹶起し此の如き問題迄も他に横奪されて何等

**官營事業の**分配に預からざるが爲めなりとて主なる人々は日夜各所に集會して善後策を凝議したる結果兎も角今一度當局に陳情し其模樣を見て更に執るところを決することゝし今明日中に委員數名入城することゝなり居れり（馬山）

### 務安棉價格

去十九日執行した務安郡の棉入札値段は前回に比較すると稍上向きの趨勢で最高十三圓九十八錢（木浦）から最低十一圓七十錢（鄭草）に落札した（木浦）

### 木材在荷量

新義州に於ける昨今の木材在荷は正確なる數字を知るに由なきも營林廠の所有に係るもの約十五萬尺▲朝鮮材木新義州木材其他の會社工場及び個人の所有に屬するもの五萬尺〆▲朝鮮製材會社の原料木以外の紅松材一萬二千尺〆▲合計二十一萬二千尺〆の見當なるが此の內には電柱丸太小丸太材等をも含む可く實際の建築材料は十六七萬尺〆なる可きかと某當業者は觀測し居れり（新義州）

### 支那街人口

安東縣支那街に於ける戶口調査を遂に日本國勢調査に準じ施行したる由なるが人口六萬五千餘に達する由猶警察廳の調査に依る時は六萬一千餘人と算すれば其正確の數を知るに由なし六萬二三千內外が正確に近かるべしと（安東縣）

### 農家の持米投賣防止の爲 殖銀の短期貸付

米穀放賣防止の目的による殖銀の米穀短期貸附は全南に於ても各地方金融組合に移牒し著々進捗中なるが其第一目的は現に金融組合の倉庫中にあるものにして第二は同組合を通じて農家に貯藏し居るもの、放賣防止を主眼とし擔保貸附を爲し第三は其目的に依る不動産見返り擔保貸附第四は地方資産家の要望等なるが一切の方法は簡便にして焦眉の急に應じつゝあり去れど未だ之が適當なる計畫は明瞭ならざるが如し（光州）

### 新義州分隊受賞

朝鮮軍司令官前田憲兵司令官は一月十五日附同十八日附を以て新義州憲兵分隊附左記下士卒に對し不逞鮮人等が爆彈火藥の密輸入獨立團に提供する軍資金募集する等の犯人を搜査逮捕したる功勞に依り頭書の通り賞賜有たるを以て入留島分隊長は廿二日午前十一時嚴重なる授與式を執行し一場の訓示を與へたり（新義州）

▲八圓憲兵上等兵管照▲八圓憲兵補洪維善▲八圓憲兵上等兵西鄕勝▲二十圓一等憲兵補李遷鐸▲六圓一等憲兵補文應周▲十八圓通譯林保華▲十二圓憲兵補佐藤金次郎

### 見學團歸る

公主嶺獨立守備隊第六大隊長中頭中佐以下十二名は既報の如く義州方面の戰蹟見學中なりしが廿日午後安東に來り安東ホテル一泊廿一日午前十一時發の列車にて歸隊せり（安東縣）

### 副訓導養成試驗

忠淸南道廳に於ては昨年開所したる副訓導養成所の十年度に於ける選拔試驗を三月初旬に施行し四月に入所せしむる筈なるが定員三十一名にして一ヶ月一名に對し金二十圓宛を給與する由尙自費生をも多少は許可する見込なりと因に講習期間は九年度にありては六ヶ月間なりしも十年度より一ヶ年に延長したりと云ふ（公州）

### 鎭南浦舊歲末市況

舊年末に迫り鮮人側の決濟時機にもなつて來たが銀行及內地人に關係あるものは昨年末に片付いてゐるから舊年末の決濟をなすは少數であると謂ふ、必需品の賣行は例年の十分の一二に過ぎず併し大した波瀾もなく平穩に越年するであらう（鎭南浦）

### 清州郵便物激增

清州郵便局では舊臘十五日より七日迄の年賀郵便引受數は十八萬九千通一月よりの配達數十三萬二千通又十二月中の爲替貯金取扱ひ高は引受口數三千四百口金額四十二萬三千圓拂渡口數千百口金額三十二萬九千圓之を前年に比較すると總ての取扱數に於て二割五分以上激增して其原因は鐵道工事や河川附替工事の爲め多數の人が入り込みたる結果である（清州）

## 地方集會

▲滿洲木炭總會　安奉線[illegible]に本社を有する滿洲木炭株式會社は去一月十五日定時株主總會を開きたるが前期繰越金當期純益金合計三千二百四十一圓零五錢を無配當に全部後期繰越金と決定せり猶重役全部任期滿了の處監査役古部秀氏の外全部舊重役の重任に決したり（安東縣）

▲東洋電氣會社張宴　平壤吉川勝太郎氏經營にかゝる東洋電氣商事合資會社にては二十二日午後六時より府內官民有志を大同館に招待し新年宴を催したるが非常の盛況を呈したり（平壤）

▲鎭南浦府會　鎭南浦府に於ては來る二十五日午後一時より左記の件に付府協議會を開く由（鎭南浦）一、大正十年度鎭南浦府歲入歲出豫算內示の件

▲鎭南浦商議例會　當地商業會議所にては大正十年度豫算決定のため來る三十日定期評議員會を開催する筈なりと（鎭南浦）

▲鮮人會總會　二十六日午後一時より安東鮮人會定期總會を公會堂に於て開催會務報告評議員選擧をなす筈なりと（安東縣）

▲岐阜縣人會　安東新義州岐阜縣人會は二十二日午後五時より東亞煙草安東販賣所主任丸毛武男氏の送別會を兼ね料亭仙良之助に於て開催頗る盛會なりし（安東縣）

▲伊佐奈の小宴　合資會社伊佐奈商會安東縣支店主[illegible]氏は二十日午後六時より料亭仙良之助に於て安東縣の重なる新聞記者、通信員を招待して新年宴會をなしたり（安東縣）

▲東亞煙草小宴　東亞煙草安東縣販賣所主任更迭に就き前主任丸毛武男氏は二十三日夜より安東公會堂に於て官民有志數十名を招待して宴を張るべしと（安東縣）

▲寫眞同好會　二十三日正午より市場通り寺田商會に於て安東寫眞同好會第六回例會を催し印畫の陳列等あり盛會なりしと（安東縣）

▲謠曲新年會　仁川觀世流同好會は廿二日正午より[illegible]に於て新年謠曲會を催ふ羅生門花月鉢の木猩々などがあり囃子には杜若等の段山姥其他狂舞竹生島甜末廣狩の狂言などがあり盛會であつた（仁川）

▲平南畜産技術員會　平安南道畜産技術員會は來る二十七日より二十九日迄の三日間道廳に於て開催さるゝ筈にして聽取事項諮問協議事項終了後知事の訓示ある筈なりと（平壤）

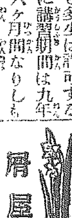
▲李副贊議の講演　平安南道內にかける中樞院副贊議李晩奎氏巡回講演日程は二十四日成川二十五日江東二十七日平壤、三十一日安州二月一日中和の豫定なりと（平壤）

▲大工同業組合大會　平壤大工職同業組合にては二十二日正午より歌舞伎座に於て第三回大會を開催したるが盛況なりし（平壤）

## 地方人事

▲中野平安南道第三部長　隨行員數名と共に廿五日來浦二十六、七日兩日滯在、鎭南浦府諸所に於ける一般の事務を視閲し廿八日龍岡へ向け出發の筈

## 屑屋の籠



### 時代後の教育（一）　閑汀生

今廿一日發行の『京城日々新聞』は、『非常識なる教育家』と題して、京城中學校長柴崎鐵吉氏の體育獎勵の極端なることに就いて、其の注意を請ひ、同氏が此頃『寒稽古』を獎勵し、全校生徒を未明より學校に集めて、劍道又は柔道を勵行することや、明廿二日の夜に行はるべき夜行軍、即ち午後八時に京城を出發して水原まで（約十里）夜行軍を行はんとすることを批難して居る。事實果して然りとせば、予も亦同記者と共に、其の反省を促す者である。寒稽古といひ、夜行軍といひ、若し生徒中の有志が相集まり、自ら好んで企てたることならば、固より其の爲す所に任せても可いが、假初にも是れが學校の命令であり、又縱ひ命令でないにしても、若し斯かる體育法が同校の敎育方針であるとせば、予は其の時代後れなるを歎息せざるを得ない。中學校は決して警官の練習所でもなければ、軍人の養成所でもない。中學校は普通教育を授くる所であり、生徒をして他日卒業の後、氣品あり能力ある文化國民たらしめんとするのが、其の主なる目的であらねばならぬ。勿論生徒の體育には注意を怠つてはならぬ、又剛健活潑進取的の氣風を養成せねばならぬ、優柔惰弱の國民を造ることは、尤も其の避くべき所である。然しながら體育々々と言つて、昔スパルタに行はれたやうな敎育や、軍隊式の訓練を強要して、生徒に非常なる苦痛を感ぜしめ、其の健康を害するの虞あるが如き遣方は、文化教育とは相容るべからざるものである。體育は成るべく生徒に愉快を感ぜしめつゝ、其の身體の各部を、のび〳〵と發育せしめることが肝要なのである。此の點は小學校や普通學校にて、兒童に體操を課するに際しても、亦敎師の時に注意すべき所である。體操は秩序ある一種の遊戲であつて、武藝でもなく、學術でもない。其巧拙を以て點數を付けたり、嚴しい規律を兒童に強制して、士官が兵隊を訓練するが如き方法を取るのは、大いに考ふべきことであると思ふ。

**職業に尊卑なし**

職業には尊卑なし。故に人高尚なる精神を以て其本分とする所に努力せば、如何なる職業と雖も高尚となるべく、如何に高尚なる職業も、陋劣なる人格の手にかゝらば、忽ち卑賤のものとなるべし。活眼達識の士は、愚俗の如く瑣々たる外觀、屑々たる階級の高下に煩はさるゝことなく、毀譽褒貶の外に超脫し、穩健なる人生觀を標準として、多くの眞理を會得し、俗人の傲然として大言壯語するを、毫も意に介せざるなり。（一月二十一日夜稿）

◎日本鑛油抽籤　豫て十五周年紀念景品賣出中なりし日本鑛油株式會社は二十日午後一時より仁川商業會議所樓上に於て來賓數十名立會の下に之が抽籤を行ふ式終つて來賓一同自動車を列ねて松林里なる同社工場を參觀し午後六時よりは磯樓に於て張宴したり（仁川）

▲訂正　一月二十一日發行京城日報第三面長崎縣人會記事中幹事の內百崎さるは渡邊の誤聞に就き訂正（安東縣）

## 地方色

久しく安東警察の[illegible]となつて居た元安東署長の古賀サンは[illegible]十八日から採木公司に入り[illegible]新任安東署長は[illegible]記者團中の酒豪との評がある▲而かも斗酒猶辭せずと云ふた處でキチンと正座して遠慮を崩さない處からゐらい▲安東憲兵分隊長の新見さんは昨年新夫人を迎へて琴瑟大に利合して居る▲荒川六小サンの圍碁自慢も古いものだが過日の圍碁大會には二等賞に入賞した相だ▲入江領事は近頃盛んにスキーに熱心だ相で既に轉はぬ丈けに練習が積んだ相だ▲仙良之助のボンドロには[illegible]▲同亭の二代目夜明二代目與一兵衛は共に[illegible]可愛いチヨコマンサラ三である。（安東縣）


◁二月一日籤節分の福運試し▷

七十八回（一等三千圓・二等五百圓・三等一百圓・以下整理割增金附）

同番組合せ　二通 六千圓 二十一圓／三通 九千圓 三十三圓／四通 一萬二千圓 四十五圓／五通 一萬五千圓 六十圓／六通 一萬八千圓 八十五圓／七通 二萬一千圓 百十圓／八通 二萬四千圓 百四十圓

七十四回　賣價八、七〇　二通組廿圓　三通組卅一圓　四通組四十一圓

六十七回　賣價八、二五　二通組十八圓　三通組廿八圓　四通組卅八圓

當籤表　毎月發行　一ヶ年四十錢

大阪市東區安土町堺筋　小尾兩替店　電話本局八〇五番　振替大阪九四一四

船用石油發動機（新品廿馬力有）　陸用吸入瓦斯エンジン（新品十二馬力有）　下關市本町四丁目　高橋鐵工所

金もうけ　誰れでも無資本同様の小資本でスグ其日から意外の大金儲の出來る永久的獨占新事業藥品應用製造秘法を公開せる工藝化學案內書壹冊　無代進呈　ハガキ至急申込め今特典有　東京本郷區曙町　日本通信藥學校

標準時計設置

當京城府で正確なる時間を知るは唯だ正午砲と郵便局の時計が有るのみで御座いまして民間で標準と致すものが御座いませぬ爲め常に苦慮して居りましたが今般朝鮮總督の許可を得まして未だ民間に例のない仁川觀測所直接の午報器を店內に設置致しましたから正確な時間を御望みの御方は日曜祭日を除き毎日午前八時から午後五時迄電話四七一番へ御尋ね下さい、分秒詳細且迅速に御報告申します

京城本町二丁目　村木時計店　電話四七一番　振替京城三一九〇番

第壹回決算報告

貸借對照表　自大正九年七月二十九日　至大正九年十二月卅一日

| 資産ノ部 | |
|---|---|
| 未拂込株金 | 一三、五〇〇、〇〇〇 |
| 掛賣勘定 | 五六、二五〇、六二五 |
| 商品勘定 | 二、〇六九、五四〇 |
| 原料勘定 | 六、四九九、三三五 |
| 製出勘定 | 七〇四、三一〇 |
| 投資金 | 一五、〇〇〇、〇〇〇 |
| 商標權 | 三七五、一三〇 |
| 創立費 | 一七三、三一〇 |
| 什器 | 四六、六五五、七一〇 |
| 器具 | 一四、三六四、一四〇 |
| 土地家屋 | 一九、〇〇〇 |
| 振替貯金 | 九〇七、八〇〇 |
| 受取手形 | 一三三、五〇〇 |
| 現金有高 | 一、九六〇、四八〇 |
| 銀行勘定 | [illegible] |
| 合計 | 一五五、一四八、八五〇 |

| 負債ノ部 | |
|---|---|
| 資本金 | 一五〇、〇〇〇、〇〇〇 |
| 借入金 | 八、八九九、六六〇 |
| 假受金 | 四三六、八〇〇 |
| 支拂手形 | 一、四五〇、〇〇〇 |
| 社員積立金 | 三六、六六〇 |
| 掛買勘定 | 一〇、〇〇〇 |
| 當期純利益金 | 四、三三六、七三〇 |
| 合計 | 一五五、一四八、八五〇 |

損益計算書

| | |
|---|---|
| 當期總益金 | 七、六四三、七三〇 |
| 當期總損金 | 三、四一六、〇〇〇 |
| 差引純利益金 | 四、三三六、七三〇 |
| 內 | |
| 法定積立金 | 一二五〇、〇〇〇 |
| 株主配當金（年一割八分） | [illegible] |
| 重役賞與金 | [illegible] |
| 後期繰越金 | [illegible] |

右之通リ候也

大正十年一月　三矢酢釀造株式會社

最上良質他店ノ追從ヲ許サズ

女の月經衞生　防毒ゴムサック　特製一打六十錢　極上八十錢　一打十一打　大阪市北區天滿橋北詰　大島藥房　振替口座大阪四四九三

模範 全乳　▲李王職御用　▲鐵道病院御用　太正獸醫肥塚場主　東亞牧場（電話五二番）

刑事專門辯護士　本木房吉　京城府黃金町三丁目二十番地（大阪ドラック東側小路入ル）電話長二四一三番

BIOFERMIN

整腸消化劑　ビオフェルミン

本劑は本邦嚆矢の糖化菌含有乳酸菌製劑なり

本劑の効果は學理的に又實驗的に極めて多數の醫家に依つて確證せられ、現今乳酸菌製劑中聲價第一位に在り、殊に本劑獨特の糖化菌は獨り乳酸菌の腸內腐敗作用を助長するのみならず、本邦人の如き澱粉消化不良に因する腸疾患多きを占むるものに對し特に其効力優越す。

【適治効用】腸機能の衰弱、消化作用の補助、腸加答兒、下痢、便秘、腸膨滿、慢性腎臟炎、糖尿病等。

【容器】三十瓦入　百五十瓦入　十錠入　錠劑五十錠入　百五（全國知名藥店に販賣す）

（三）

製造元　神戶市三宮町二ノ一　株式會社神戶衞生實驗所

發賣元　大阪市東區道修町　武田長兵衞商店

GLYCONAL

滋養強壯劑　グリコナール

本品ハ一般虛弱、心臟機能衰弱、胃腸病、結核其他慢性病者等濃厚滋養料ノ充足ヲ要スルモノニ對シ良ク其目的ヲ達スル事ヲ得。

本品は醫學博士佐伯矩先生が創製セル營養劑ニシテ五〇％ノ「グリコゲーン」及蛋白脂肪越幾斯分ノ適量ヲ含有ス

本社　東京日本橋區室町三丁目　出張所　大阪淡路町・臺北府後街　三共株式會社

說明書呈

# 皇太子殿下 帝王學御研鑽

## 北白川宮殿下も華族の御資格で佛國へ御遊學

東宮殿下には來る三月普通高等學を御卒業遊ばされ同時に在來の東宮御學問所を廢し帝王學を御研鑽の爲皇族方の内より御輔導さし名流の士を顧問に勅令ある由承はるが御卒業後四月頃を以て山陰地方御巡遊の由拜承す從つて御渡歐は目下の處未定なるが先づ御渡歐の節は軍艦に乘御英國に渡らせられ英皇室を御訪問の上歐洲各國皇室を御訪問遊ばされ昨春カロル殿下御來朝の御答禮の爲羅馬尼國に立寄らせ給ひ大勳位菊花頸飾章を御贈進相成る御豫定の由又北白川宮殿下には今秋を以て軍事御研鑽の爲め一華族の御資格にて御渡佛同國陸軍大學に御入學遊ばさるゝやに傳へらる(東京)

# 尼港に行啓されん

## 御渡歐に先ち 香取に召されて

東宮殿下には列國との親善を圖らせらるゝ思召しの下に御渡歐あらせらるゝ事は既報の如くなるが其時期に就ては未定にて尙ほ御治定の運びに至らず御渡歐に先だち軍艦香取に召され北海道へ御渡道各地を御見學あり更に故石田領事以下七百の同胞が恨を呑んで毒刄に殪れし尼港にも行啓親しく遭難當時の狀况を御視察遊ばさるゝ由洩れ承はる(東京)

# 故太王殿下の御供養に 王世子の御歸鮮は

## 千部萬部のお經にも代へ難からうご拜察する 大庭將軍車中談

陸軍大將の親授を帶び得意滿面二十二日朝入港の連絡船高麗丸にて意氣揚々著したる大庭軍司令官はホテル少憩後釜山守備隊巡視の後

**東萊溫泉場** へ赴き一泊長途の旅疲れを醫し二十三日朝釜山午前十一時二十分發列車を釜山驛に待ち受け乘車日程により馬山に向かへるが記者は同列車に乘込み將軍を訪ふ可く隨行の軍參謀天野少佐原田軍副官に刺を通ずれば聽て一等シートに泰然と座をかまへた將軍に引見された劈頭御昇進の喜びを述ぶれば包みきれぬ微笑を湛へながらいや有難うご輕くうなづく轣轆長蛇と走る列車の速度に似たる矢繼早なる記者の質問に

**將軍は悠々** 洛東江畔の枯色を眺めつゝ『何に今期議會に朝鮮增師案の提出?其處事は一向東京でまだ判らない君等から聞くのが始めてだ、其の外朝鮮の師團に關する提出議案等は別に無い樣な事は僕なぞの預かり知る所でない陸軍當局部の遣る仕事さ…今秋武藏野の平野に八個師團約八萬の精兵を集めて大々的の特別大演習が行はれると云ふ事は東京出發前に耳にしたが變途は何等聞かず途中新聞の報道で知つた位だが參謀本部から出た確報とあれば

**間違ひなく** 御膝下のここだからより一層壯大に行はれる事であらう』こやをら威容を正し更に語を繼いで曰く『今春二月中旬を期し決行さるゝ第二回の大刀洗から平壤への陸軍飛行隊の耐寒飛行並に、李太王殿下三週年大祥祭に參列の爲め延日中で拜聞したが今回の大企畫である飛程七百二十餘哩の耐寒飛行は朝鮮師團として是非共出來得る限りの便宜を計つて今より其成功を祈つてゐる次第である

**李世子殿下** 久方振りの御歸鮮は李王殿下を始め御親族御一統の御喜びは勿論李王職府の御滿足李太王殿下の御供養には千部萬部の御經にかへがたく拜察せらるゝのである、此他別段軍人には土產話など云ふ程の話も無い生憎持合せはないが歸途久し振りに故鄕山口の田舍に歸り去年せねばならなかつた親の法事ご祖先の墓參りをやつて來ましたがあちらの親戚やらこちらの知人やらから眞情溢るゝ歡待を受て…皆の勝を致した位の話サ』更に歸鮮の途次草々の

**巡視に就て** 聞けば軍司令官としての職責上鮮內各地軍隊の初度巡視は來任と同時に行ふ筈であつたが例の間島事件のゴタゴタの爲め今日迄延び延びになつて居たので今回の歸任の途次決行する次第でこれもつまり時と旅費即ち國費の節約で軍人は平時に於てもこんな心懸けで國家に盡している譯サ』と呵々大笑胸奧にひそむ崇高にして威大なる武士氣質の信念を偲ばしめた斯くして群鳥

**喧騷として** 時に急ぐ黄昏時洛東江岸三浪津驛に將軍の英姿を見送り心中ひそかに將軍家の爲め將軍折角の自愛を祈つて袂を別つ(釜山一記者)

# 列車を鋼鐵張に改造

## 若し衝突しても危險がない

…る處に依れば此鐵車は數年前紐…戸局の主張せるものにして其風…袋量が非常に重いから衝突の際…ない而して在關車も最新式の一萬八千五百號で十分曳き得る筈である(東京)

# 鞍山站の鑛脈

## 無限の命數を有する 十哩四方といふ廣い區域が皆鐵の鑛脈である

鞍山站製鐵所次長岡虎次郎氏に曰く年產額百萬噸の鉄鑛製煉の目的を以て成れる四製鐵所は擴張の矢先遺憾財界の變動により

**遂に頓挫し** 其の諸設備に故障を生じた爲め現在では僅々年產額九萬噸位の能率である然しながら最初の豫定を中途に於て全然變更したのではないから依然擴張の歩は緩めない筈製鐵所範圍にある鑛區は實に豐富なもので約十哩位の一圓は殆ご鑛石を以て充滿され尤も其鑛石の中にも含鐵量の多いものと又少い物とがある是の總てを合するこ無限の命數のあるもので唯初の採掘方法は含鑛量の多い鑛石のみに限つてゐたが此方法は現在にては用ひられず其多少の含鑛量を通じて採掘して居る昨年來よりの不況の爲め製煉された銑鐵は何處にも輸出することなく積んであるが何れ

**景氣の恢復** すると共に賣捌く方針である自給自足を以て叫ばれ居る昨今殊に銑鐵不足の我日本に取つては同製鐵所より銑鐵の供給を仰ぐ事は役立つことであらうと思ふ(東京)

## 埋葬中諸注意

市內の流感及猩紅熱蔓延の兆あり從つて死亡率增加の傾向ある處から爾後流感猩紅熱死亡者は警察署の證明書無き者は府廳でも埋葬認可書を交附しない由

# 櫻井小學校の母姉會

櫻井小學校の母姉會の總會が廿三日の午後一時から同校に於て開かれました、心から今日の會を喜び集ふ人は凡そ百名許り、此の日の會場階上の裁縫室は忽ち御母樣の群姉樣の群で充たされました、先づ會長市川先生の總會の辭があつて引續き昨年度の會務の報告尙又本年度の會の發展內容の充實に就いて種々な協議があり終つて茶話會に移りおすしやお汁粉に夫人の手になつたくさぐの馳走に調理の美を味はひ微りの間に趣向凝つた福引が初まつて一同を笑はせて餘興として女先生方の對話全員の雷談いろいろな催しは次ぎから次ぎご出て興はつきず一同名殘りをさめて五時過ぎ散會したが其は[illegible]く且つ意義ある總會であつた

# 婦人と家庭

## 話の下手な 日本の婦人

### 修養と研究が肝要(上) 鳩山春子女史談

座談と云ふことはなかなか難かしいとである、子供に對して大人の話はいけず又老人に若い人の話は向くものではないと云ふて吾々は一日の中でも色々の人に合ふ立派な學問をした紳士もあれば若い婦人もあり又商人もあれば老人もある

**之等の人々は** 各それぞれ話が進むことは云ふ迄もない。隨つて之等の人々と其話をしつくり合してゆくことは甚だ難かしいものである然るに眞の話上手になるこ例へ初對面の人でも或は永い間の知己で懇意な間柄の人でも其人に必ず滿足して歸つて行くそして又折があつたら訪ねやう訪ねないでは居られないと云ふ氣を起させる。

**座談も並まで** 行かねば其の妙所に達したとは云はれぬのである。然しながら話上手だからと云つて必ずしも人を感服させ又は說服させるこ云ふ事が其の能ではない。座談と云ふものは第一に興味がなければ聽く氣になれるものではない、自分許りがその事に委しくとも相手が一向に興味を持つて居なければそれは座談にはならぬ、例へば家事にのみ

**携はつて居る** 主婦に政治の話などを持かけた處で主婦その人は一向に興味を喚られるものではない、と云て同じ職業を有つて居る者が會ふた時、例へば教育家同士が會つたとするこ直ぐその方面の話を持出すは之は一寸考へものである。何故なれば理窟屋は朝から晩まで平生理窟の中に暮して居るものであるから餘り墜苦しい話には互に飽いて居る、隨つて

**興味も湧かぬ** のが普通である。であるからこういふ職業方面の話などは先方から話題が出たら兎も角も此方から向けると云ふのは避けた方が好いやうである。それは政治家であれ乃至實業家であれ又婦人であれ毎日自分達の携はつて居る仕事とも珍しい別の世界の話しに興味を覺わるのは當然の理である。

# 職業婦人 忙しい事務

## うら若い連中がモシモシの連發で一時間の交換受數平均二百五十回 京城局の電話交換手

若き乙女の黑髮の間に、無造作に受話器を挾んだ交換孃は、一寸其血潮の華やかさを裏ぎらせる現在京城局で此の電話の事務にたづさはつてゐる人は內地人百二十九名、鮮人二十三名、都合百五十餘名である。

**採用程度** は內鮮人共高等小學卒業以上だから概してうら若い人ばかりが、採用後三ヶ月は當然見習ひとして專ら其の練習を行ひ、三ヶ月の見習ひ期を過ぐれば本事務員として實務にたづさはる。其の仕事の能率に於ては練習の度合、各自技術の巧拙によりて一樣でないが、交換度數一人宛一時間平均二百四五十回以上といふので隨分の忙がしさである。それには一々應答やら聞き洩らすまいと

**氣を使ふ** は一通りでない。又勤務の時間も精神の疲れ…時間は繁閑の度に應じて調節され日勤夜勤と定めがあつて一定されないが、大低一日平均七時間乃至八時間位で、一週を通じて一日の休養日が得られる。更に當局では勤務の勞を認めて一時間毎に十五分間の休憩時間が設けられてあるから其間別室の娛樂室で樂器に向かふもよし思ひ思ひに氣を散ずる事が出來る此外

**事務員達** の將來を慮かり、非番の時間を應用して習字、裁縫、國語、算術など婦人に適切な家事學の無料教授が行はれてゐて非常に喜ばれつゝ成績を舉げてゐる。常に又妙齡の人の往復に對しては、家庭との連絡を取りて加護されてゐる。此處の給與額は初任給日額六十五錢前後からで、現在最高內地人月額七十圓、鮮人八十六錢、尙ほ此外に

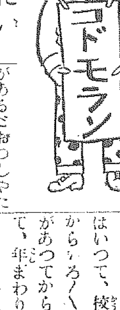
**勤務手當** が支給され、通勤道程によつては電車料の支…もある。こゝで一番困るのは民の苦情で、時として隨分聞くに忍びぬ樣な厭な言葉を浴せかけられて、若い氣の弱い連中は時に泣き出すこともある。

## 育兒と衞生 乳兒の入浴

乳兒の入浴時は普通六七分間位を程度とし午前中十時頃が良い而して入浴中は耳の中や鼻の中に水の入らぬやう注意し若し耳の中へ水が入つたら脫脂綿で靜かに拭くがよい。すてゝ置くと中耳炎などの恐い病を惹き起すから注意すべきである。

## めでたい

日出小學三年 今村ツルエ




待ちに待つた正月もぶじにすんだ。大みそかの日は、私の家の、たゝみのはりかへであつた。午後五時半頃から、はじめた。それから八時頃までかゝつた。夕飯の時には下でたべられないので二階でたべた。それから叔父さんと買物に行つた。行く時に、叔母さんと相談して、なにくを買ふとしるしをしてから行つた。本町通りへ行くと、急にちりんくと鳴る音が聞こえた。間もなく赤い自動車がかけて來た私はなにかと叔父さんに聞くと、どこかに火事があるとおつしやつた。少し行つて花屋によつて居ると、さつきの自動車がかへつて來た。叔父さんが、さつき火事と言つたのはうそだとおもつた。足袋屋の方へ行くと、不意に私の下駄のおがきれたので、叔ぢさんに買つていたゞいてはいた。それからいろくな物を買つてかへつた。そしてねどこへはいつても、あすがお正月だと思ふと夜もろくくねられなかつた。朝おきて、時計を見ると、ちようど六時五十分をさしてゐた。大いそぎでしたくをして、學校へ行つた。それからかうどうへはいつて、校長先生からいろくなお話があつてからかへつて、年まわりにいつて、はごいたをついてあそんで居ると電氣がついた。二日の朝はいつもより早くおきて、だれもおきてゐない中にお書きぞめをかいてしまつた。ご飯をすましてから、高橋先生の所へ行くと、先生はどこかへいらつしやつた。それから松長さんや高石さんたちとあそんで、しばらくして、ここの先生の所へ行かなくちやあならないからと言つてかへつた。それからほんかんじの所へかへると電氣がついたからいかなかつた。みんなは正月ほごめでたい事はありますまい。

# 今樣お半長右衞門

## 七十六の老人と十七の美人の醜關係 遂に本夫を殺さんとす

廿二日午前十時京城地方法院刑事法廷に於て藤村判事の係で殺人未遂犯の公判があつた被告は江原道平昌郡平昌面中里居住の金允用と云ふ

**當年七十六** の老人で其の言ふ所が更に要領を得ない程に老衰してるが此の老人は年甲斐もなく當年二十二歲になる李兒其と云ふ有夫の美人と不義を通じて本夫を殺害せんとしたのである。裁判長と被告の間に次ぎのやうな問答があつた。(問)被告は何歲か(答)七十六(問)被告は相被告と何日頃から關係したか(答)大正六年五月二十二日に兒其が私宅に來て五月姉く申すので遂に關係しました(問)被告の申立によると姦夫姦婦が自由の行動を妨ぐるものは本夫であるから之を葬つて了ふことした…ので相談して六年五月二十七日夜姦婦宅に於て本夫金學祚が眠中を

**櫟木製の棒** を以て擧の頭耳孔に突き込んだが遂に殺害の目的を遂せず反て被害者に捕へられたのであるが被害者の隙を覘ひ逃亡し九年十一月廿三日平昌警察署に逮捕されたので判決言渡は來る二十八日である

## 三坂校の義士會

府內三坂通の三阪小學校では廿一日即ち陰曆十二月十四日に相當するので義士會を催した。午後一時半全校兒童が講堂に參集、兒童の朗讀吉田訓導の講話あり全校兒童は赤穗義士の誠忠を偲びつゝ赤穗義士の唱歌を合唱し散會

# 釜山の音樂會

## 廿五廿六兩日 釜山座にて開會

東京音樂學校出身金永煥氏を中心に金享俊外男女十四五名よりなる若き鮮人音樂研究會なるものを組織し鮮內各地に亘り音樂思想の鼓吹を圖しつゝあるが今回在釜山李奎韓氏主催となり有志諸氏を招聘し山著名の士をも加へ廿五日、廿六日兩日間山座に於て花々敷演奏會を開催する由因に當日は本紙欄外割込の割引券を持參せば入場料三割引の特典あり(釜山)

## 雜誌『開闢』の公判 二十四日開廷

天道教靑年會の機關雜誌開闢(朝鮮文)は出版法による出版物なるにも拘らず常に其の範圍を越へて不穩の筆を弄し屢當局より注意を受けたるも改悛せず第六號にも依然不穩の文章を掲載したるを以て東大門警察署に於ては同發行兼編輯人李斗星氏に對し罰金五十圓に即決したるも氏は京城地方法院に正式裁判を仰ぎたれば二十四日午前九時より公判開廷せりと

…九日行賞のありたるが尙此の外佐々木慶南道知事並に八木第三部長より夫々功勞者三名に對し賞金を贈呈したり…では廿四日演武始めを行つた同日午前中は柔道午後劍道で鈴木…撫術部の立合は當日の見物で…同昨年十一月一日を以て全國一齊に行はれた國勢調査に際し伊勢村の委員等は常にかゝる性質の…

任地左の如し

| | |
|---|---|
| 西大門 獄 | 吉野 |
| 京城 同 | 土居 |
| 釜山 同 | 寛市 |
| 大田 同 | 德市 |

## 連絡船上陸客

二十二日朝入港新羅丸上陸船客 [illegible]

京城信託社 案內欄
京城永樂町二 電話四七番
▲土地、家屋、山林、鑛山賣買
▲商品、證券、電話其他一般仲介
▲右委託ニ應シ迅速確實ニ取扱可申候 御利用願上候

買ヒ度モノ
一、水田買入及特保賣出シ
一、高陽住宅向八千圓以內
一、住宅東方向千五百圓以內
一、同 東方面五一坪位ノモノ
一、同 小住宅向オンドロ付ノモノ
一、商店向本町二三丁目南側
電話

賣リ度モノ
一、家宅及營業 本町三丁目十數棟
一、同 大和町二丁目日本通り
一、同 大和町二丁目
一、同 山林光熙門外二ケ所
一、別莊向蓬萊町四丁目二ケ所
外數ヶ所アリ乞御照會

京日案內 營業 番外

○○朝鮮並錫物工 貳人雇入タシ 仁川 僑工所

店員至急入用
一、商業ニ經驗アル店員 數名
一、簿記筆耕ニ堪能アル女事務員 一名
一、上女中 一名

但シ市內ニ確實ナル保證人及身元證明書ヲ要ス 京城黃金町二丁目 津田兄弟商店 電話三三五六番、一三四〇番

度量衡器修理 京城府龍山漢江通六番地三角 伊藤商行 電話六四三番

店員至急入用 市內ニ確實ナル身元保證人ヲ要ス 京城林町一九 木炭商 西川商店 電話一六四二番

ほねつぎ 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場

測量機械 迅速懇切修繕 京城太平通一丁目十三番地 李王職美術品製作所前 電話一二二六

毛皮なめし 並に仕立 鳥獸剝製標本調製 鳥類手羽買入 鳥毛皮鳥毛買易商 京城本町二

貸自動車 電話一〇番へ御掛け下さい 一時間五圓 京城太平通

社員募集 希望者ハ履歷書携帶本人來談アリ度シ 京城府旭町二丁目七十八 横濱生命保險會社京城支店

春川行 貸自動車 電話三八三 京江自動車商會 京城黃金町二丁目百拾五番地

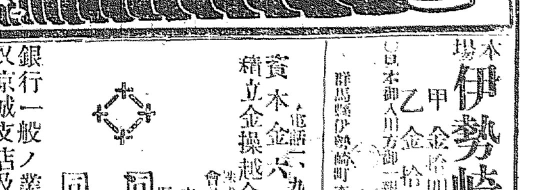
古本 高價買入 是非御試を乞ふ 電話參九五 本町二丁目 群書堂

觀相 石龍子先生直傳 勤說 酒井三郎太 京城本町五丁目八拾壹番地 電話參一五番

ゴム靴 高級專門 大阪市天王寺區上之宮通二 久津和商會

佐野屋 京城本町四丁目七十三番地 西洋洗濯 染物 電話一三六三番

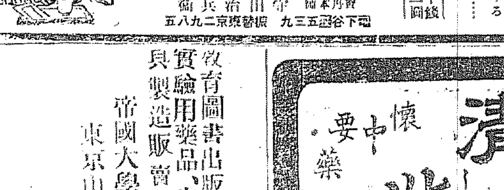
養蠶室 右歸國に付き代價に讓る御希望の方は本社に御照會 如何樣にても…




守妙(モリミヨウ)です
キキメの確で中毒作用のない
全身よく溫まる
植物性感冒藥

主効
◆ぞつと惡寒を感じた時
◆急に發熱した時
◆足腰の冷込みを感じた時
◆頭痛眩暈逆上する時
◆咳嗽、喉の出る時
◆婦人冷込から起る諸病
◆鼻風邪にて水鼻液出る時
◆何となく感冒の心地する時には是非

定價 二十錢、五十錢、一圓二十、三圓



東京下谷池の端仲町廿七 賣藥本舖 守田治兵衛 振替東京二九八五 電話下谷三五九
全國各地有名藥店にあり

本場 伊勢崎銘仙 特價販賣仕候
甲 金拾四圓五拾錢 男女向絣
乙 金拾貳圓也 男女向縞
見本御入用方御一報次第當地產伊勢崎銘仙の見本御送呈可仕候
群馬縣伊勢崎町本町 羽尾商店 小包部 振替東京一八七〇七番

資本金六百五拾萬圓
積立金操越金百五拾三萬圓
株式會社 十八銀行京城支店 京城府黃金町二丁目 電話四二〇番五八〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 新龍山支店 京城府漢江通り拾參番地 電話五〇番 振替口座京城一八貳三番
同 龍山出張所 京城府元町三丁目 電話一八番
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務扱中候

拜啓愈々御隆昌の段奉大賀候陳者格別の御引立に預り以御陰益々隆盛に趣き居候段御芳情の賜と深く感謝罷在候陳者弊社今般時代の要求に從ひ新規事業として弊社內に計器部を設け左記商品取扱の事と相成候就ては計器として最も正確なる物を選擇し迅速且つ廉價に提供し聊か斯界に貢獻仕度必死の努力を以て相勉め可申候條何卒多少に不拘御用命被下度奉希上候右御披露旁々御願申上度如斯御座候 敬白
下關市三十二番地 日本漁網船具株式會社 計器部 電話 特長一〇一三番、長九一二番、一六六番 振替貯金口座下關三〇八番

營業品目 スタンダードコンパス、同上部分品、デフレクター、クロノメーター、クロノグラフ、バロサイクロノメーター、テレグラフ、アジセキスタント、バロメーター、ナイトグラス、テレスコープ、アジマスミラー、アジマスサークル、ディープシーサウンディングマシン、同上部分品、シップログ、同上部分品、インディケーター、同上附屬品、船用時計、其他航海用測器器械器具附屬品一式並ニ修理檢定

品揃
一、牛革製上仕立トランク
一、ラクダ毛布鼠毛布各種
一、日ノ丸國旗及附屬品
京城本町一丁目三六 高木艶店 電話二五四番

清心丹 懷中要藥
一、船車、宴會、集會、雜踏の場所の不快
一、過酒、過食、食アタリ、嘔吐、下痢
一、風土變り、時候アタリ、水アタリ
一、心身勞精、疲勞、倦怠の時元氣を增す
一、口中を清凉にし氣分を爽快にす
一、運動競走音聲を使ふ時咽喉を潤す
一、飲食後に常用せば消化を進め胃腸を健全にし惡疫に侵されにくし
振替口座東京四六八 東京日本橋 高木與兵衛 大阪元町

教育圖書出版業、理化學器械類、理化學實驗用藥品、生理博物標本模型、學校用具製造販賣、教育雜誌學園發行
帝國大學御用工場 東京山越工作所代理店 中田普成社 京城府長谷川町百五番地 電話一九八番 振替京城四六七番

# 二月十二日にモ式三臺
## 太刀洗を出發の豫定
### 西氷庫に一應著陸して更に龍山練兵場へ飛ぶ
### 航路は未だ確定せぬ

廿二日午後八時太刀洗航空第四大隊附高橋少佐及び北島大尉の二將校が著陸場下調べの爲め來城して廿三日午前九時から西氷庫の磧と龍山練兵場を調査し引續き汝矣島著陸場の下調べを了り救援艦艇派遣に關する打合せの爲め鎭海灣に向つて出發したが今回の太刀洗平壤間遠距離飛行計畫につき高橋少佐は語る

今回計畫せる太刀洗平壤間の飛行は耐寒飛行の練習を目的とせるものであつて朝鮮の烈寒氣流を試驗飛行するに外ならぬ故に平壤を主眼として此地に於て氷上滑走及びガソリンの耐寒能力を試練するのであるが、回使用すべき飛行機は日本製のモ式三臺の豫定であるがモ式は極て穩式に弱し我が航空隊に於て練習用として使用するのみで到底戰鬪用の役に立つ機でない航續時間も精々五時間以内で無風かでなければ飛行し得ないから二月頃に西風強き季節である故に非常なる困難を感ずることと思ふが此の穩式で不完全な機を操縱する參加將校の勇氣を買つてやらねばならぬ

二月十二日太刀洗を出發する豫定であるが天候の如何に依ることだから保證の限りでない、航路は目下研究中で未定であるが到底太刀洗から

**大邱まで** 一氣に飛ぶことは不可能であるから福岡又は唐津に途中著陸して更にガソリンを補給して壹岐對馬の天空を翔け大邱に著陸する豫定となるであらうが是も或は見合せて機體を大邱まで運搬して即ち大邱平壤間飛行を試みるとなるかも知れぬ京城の著陸場としては

**汝矣島は** 昨夏水害の爲め地上凸凹甚だしく到底滑走に堪へぬ龍山練兵場は場所として地面としても中分はないが無線電信所の電線が障碍をして是れも直下することの危險がある故に西氷庫の磧に一度著陸して更に低空旋廻飛行で練兵場に再び著陸するが安全だと思ふ

因に航空第四大隊長藤本中佐以下高橋少佐、北島、服部、茲沼の三大尉及び齋藤、三和兩中尉、丸山、小林兩少尉以下飛行下士數名が來鮮する豫定で如く操縱者は將校及び下士なりと

## 孝德殿祥祭儀

祥祭の御儀は愈來る廿七日午後十時より孝德殿内の寢殿に於いて執り行はせらる、筈である李王職では此大祥祭の御次第に就き左の通り發表した

**孝德殿祥祭儀**（廿七日午後十時より）

一、宗戚及參班員先就哭班位哭四拜訖
一、王殿下、王世子殿下入就拜位哭四拜訖
一、權就發殿
一、易服、黲袍、黲善冠、烏帶、白皮靴
一、宗戚及參班員（淺淡服、烏紗帽、黑角帶、白皮靴）
一、行禮
一、禮畢
一、王殿下、王世子殿下還入齋殿
一、參班員詣齋殿前班首以下奉慰訖退出　以上

因みに聞く處に依れば王殿下、王世子殿下には右大祥祭に於いて前記の通り御祭を改められる筈にて祭儀は頗る嚴肅なものであるとか。

## 滿鐵沿線スケート大會　安東小學校優勝す

廿三日奉天にて舉行したる滿鐵沿線の各小學校スケート大會に於て安東小學校は優勝旗を得たる旨同小學校に電報ありたり

## 不逞漢射殺　證據品多數押收

平安北道碧潼警察署堀井部長以下六名の一隊は廿一日午前四時頃、平北碧城郡沙器面獨松洞にて賊團と衝突交戰の後、不逞者巨魁高外一名を射殺し其他を逮捕し十二連發短銃一、彈丸三現金百七圓の外證據品多數を押收し我れに損害なし

# 王世子御出發
## 妃殿下は同伴御見合　三十一日に御歸京

李王世子殿下には御豫定の如く廿四日午後五時鳥居坂なる同邸御出門高伯爵以下六名の隨員を隨へさせられ同五時二十分東京驛發列車にて御渡鮮遊ばされたるが來る卅一日御歸京の豫定なり御同妃方子殿下には御懷妊中とて同伴は御見合となり御遙拜のみ遊ばさるゝ事となりたるが御慶事御發表は殿下御歸京後と相成るべし（東京特電）

## 廿六日夜　御著

李王世子殿下御著は廿六日夜で二日間御滯城は既報の通りなるが李王職では左の通り殿下の御日程を發表した

### 御日程

**二十六日** 午後七時五十分南大門驛御著、樂善齋にて兩殿下に御對面御物語

**二十七日** 午前九時孝德殿朝上食式御參列。午前十時より十一時まで仁政殿東行閣にて御親戚朝鮮貴族、在京文武勅任官、李王職高等官御引見午後三時半より孝德殿夕上食式に御參列、引續き午後九時より大祥祭御參拜

**二十八日** 正午別奠禮式參列

**二十九日** 午前七時頃孝德殿へ御告別の御參拜後午前九時四十分南大門驛御出發歸東

## 春めく昌德宮　王世子殿下御歸鮮を控へて喜色漂ふ
＝李王職發表＝

李王世子殿下には豫定通り廿四日夜東京驛御出發御歸鮮の途に上らるゝ筈であるが李王職では國分李王職次官御出迎として廿三日夜京城出發、下關へ先行した相である大祥祭、王世子殿下三年目の御歸鮮李王家御忌明を近く迎へて悲しみの雲深かつた李王家も今や喜溢るゝばかり宮殿内に來往する人達の顏にも晴やかな色が漂ひ翠深き昌德宮は瑞氣張り春らしい長閑な光りが靑丹美しき宮居を照めてゐる

## 大祥祭　日取、次第

故李太王殿下御三年祭である大

# 鑛山の悲劇　恨みの殺人
## 若い美しい人妻と　鑛山事務所の深更に
＝不義の快樂に耽つた被害者＝
＝慘劇は斯くして演ぜられた＝
## 犯人は鮮人だつた

疑問の慘殺……京畿道驪州郡金沙面龍灘里所在大石金鑛の監督工藤長七（三七）が慘殺された事件は警察側の意見と全く反對な推測されたが京畿道第三部は特に鈴木刑事外一名を派し所轄警察署長以下と協力捜査の歩を進め漸く廿二日有力なる

**嫌疑者** を拘引したが此男は平安北道寧邊郡生、同金鑛工夫劉日甫（四二）にして嚴重に取調べの結果遂に二十三日兇行の全部を自白するに至つた、被害者工藤長七は原籍大分縣速見郡山浦村にして永く塚崎由太郎氏所有の大石金鑛事務所の監督として兇行の行はれた事務所に

**男鰥の** 獨居生活を續けてゐたものであるが加害者劉日甫の自白する處は斯うである『私の愛妻羅八男（二六）を工藤が按摩を命じたが遂に醜關係を結ぶ係から

**羅男八** を屢招んで絕えず引寄せて按摩をさせると云ふ口實を造つて無理強に不義を續けてゐたのです……』と無念らしい嗔恚の瞳を光らせて妻羅男八は附近には稀な美人で此の醜關係を中立てた加害者の劉と工夫等の噂の種となつてゐた、處が被害者長七は主從關係から

ぶに至つたものらしい兇行のあつた十七日の夜も平常通り羅を事務所に呼入れて酒肴なぞを取亂して不義の快樂に耽つてゐたらしく兇行の現狀には酒德利が横だはつてゐた犯人劉は更に語を續けて十七日の深更、嗔を疑ひながらも事務所に近寄り事務所を窺ふと妻と監督と相對して親しげな

**不義者** の有樣を見て堪らなくなり怒りの爲に私の頭が亂れました』斯て犯人劉は庭から事務所に闖入して妻を怒鳴り付け其處に有合つた日本刀を以て長七に恨の一擊を與へ續いて思ひ切り夢中になつて滅多斬りに斬り付け慘殺した。斯て犯人劉は憤怒から

**覺めて** 恐ろしい殺人

昨廿三日午後一時から京城倶樂部に於て催された

## 喜多會支部の謠初會

喜多會支部友枝氏門下の謠初會は出席者五十餘名近來にない盛會だつたことに會中の婦人組の羽衣の囃子は仕舞の足どりも輕やかに大鼓小鼓のかけ聲も一しほ面白う一入の色彩を添へた婦人連の眞はその婦人連の羽衣の囃子で仕舞は宇野須磨子孃である

◇◇◇

## 軍司令部の豫備馬　膿胞口炎に罹る
### 傳染力の劇しい病氣で人間にも直ぐ傳染する

昨今軍司令部の豫備馬の大半が傳染病性膿胞口炎と云ふ病氣に罹つたので各部隊では其の感染を顧慮し大恐惶を來たしてゐる傳染性膿胞口炎は曾て内地で十數年前流行を極めた事があるが其後熄し朝鮮にも一頭もこの病に罹らなかつたが西伯利出兵以來歸還部隊の馬匹が西伯利から該病を輸入し一昨年二月頃から八月にかけ習志野東京及び各隊に猖獗を極め是が豫防に各獸醫は奔命した事がある朝鮮でも一昨年若干發生しそれ以來全く終熄してゐた處突然去る二十一日から發生し

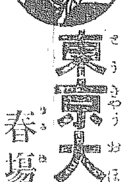
**忽ちにして** 軍司令部豫備馬の大半を冒した次第である該病は人間に類似し命を奪ふ事はないが激烈な傳染力を有し人間に觸るれば幼兒の鵞口瘡に類似し命を奪ふ事はないが現に一昨年騎兵學校の將校や馬丁も感染した實例がある症狀は口の中に

**眞珠の如な** 結節が生じ追々膿を持つて時日が經過すると之れが破れて潰瘍が出來て爛する症狀が漸進すると食慾の減退を來たし咽喉に熱を持つて馬をして苦しませる外見の症狀は涎を垂らすから直ぐ分る

輕いのになると四五日で癒るが重いのになると全治まで三週間以上を要するのも無いでもない軍司令部では目下

**原因系統を** 研究中であるが西伯利出兵以來内地にない馬匹の病氣であるとした譯で、西伯利から輸入した病氣を移入するので是が撲殺に當局は苦心してゐるがこの外ピロプラズマ病と云ふのも移入されてゐる地方にも

**流行の惧れ** がある人間にも傳染するから該病の症狀を認めたら一刻も早く獸醫に診察を乞ふが可からう



# 東京大相撲
## 春場所千秋樂

東京大相撲春場所千日目勝負左の如し（東京特電）

| 勝 | | 負 |
|---|---|---|
| 鞍ケ嶽 | （つりだし） | 友ノ浦 |
| 宮城山 | （預） | 黒瀬川 |
| 若葉山 | （たふし） | 大ノ門 |
| 大の里 | （ひねり） | 白岩 |
| 摩耶の嵐 | | 射水川 |
| 達ノ矢 | | 藤ノ川 |
| 紅葉川 | | 福柳 |
| 矢筈山 | | 對馬洋 |
| 清瀬川 | （かへり） | 常の花 |
| 栃木山 | | 小牛田 |
| 中入 | | |
| 阿久津川 | | 能代潟 |
| 琴ケ浦 | | 東雲 |
| 若湊 | （ひねり） | 鶴ケ濱 |
| 太刀光 | （たふし） | 九州山 |
| 駒泉 | （つき） | 小松山 |
| 兩國 | （こわたし） | 三杉磯 |

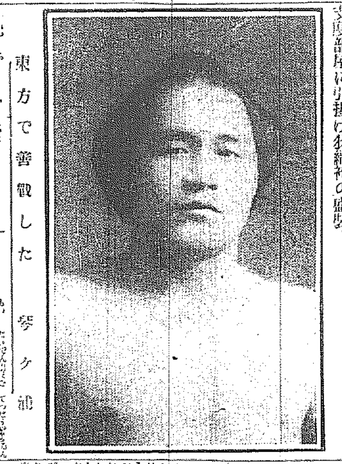
源氏山（つき落し）阿蘇嶽（本社懸賞）

大錦（寄り切り）千葉崎

## 優勝旗は西方へ
### 東京大相撲春場所成績

東京大相撲春場所は二十三日千秋樂となり優勝旗は一點の差にて西軍の手に歸せり大錦、栃木、兩横綱を始め常の花、源氏山、對馬洋の三役旗手兩國等西土俵に依りて行司木村庄之助より目錄を取締出羽海に渡し大錦旗手兩國に授け一同支度部屋に引揚げ羽織袴の盛裝にて樂隊を先頭に數臺の自動車に分乘し觀客の萬歲聲裡に西方各部屋を廻り優勝旗を出羽海部屋におさめ目出度散會したり（東京特電）

全勝した西方の横綱大錦



東方で善戰した琴ケ浦

## 東京大相撲幕內成績表

（例）大錦欄にて○矢筈山は大錦の勝、矢筈山欄にて●大錦は矢筈山の負、（○は勝●は負×は分△は預やは休）

大正十年一月場所

**東**

| 力士 | 一日 | 二日 | 三日 | 四日 | 五日 | 六日 | 七日 | 八日 | 九日 | 十日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| [illegible] | 鶴濱 | 大甲 | 大門 | 對馬 | 源氏 | 福柳 | 栃木 | 大錦 | 常花 | 朝潮 |
| 千葉崎 | 東雲 | 摩耶 | 大甲 | 福柳 | 對馬 | 源氏 | 兩國 | 常花 | 栃山 | 大錦 |
| 大潮 | や | や | や | や | や | や | や | や | や | や |
| 阿蘇嶽 | 大甲 | 駒泉 | 九州 | 常花 | 栃木 | 大錦 | 大門 | 福柳 | 對馬 | 源氏 |
| 大戸平 | 摩耶 | 九州 | 栃木 | や | や | や | や | や | や | や |
| [illegible] | [illegible] | 大錦 | 鶴濱 | [illegible] | 常花 | 達矢 | 九州 | 對馬 | 駒泉 | 栃木 |
| [illegible] | 栃木 | 兩國 | 對馬 | 九州 | 宮中 | 常花 | 鶴濱 | 源氏 | 大錦 | 達矢 |
| 矢筈山 | 九州 | 常花 | 大錦 | 達矢 | 福柳 | 宮城 | 東雲 | 栃木 | 鶴濱 | 對馬 |
| [illegible] | [illegible] | 福柳 | 東雲 | 栃木 | 大錦 | 摩耶 | 源氏 | 兩國 | 九州 | 常花 |
| 射水川 | 常花 | 栃木 | 兩國 | 八甲 | 鶴濱 | 大甲 | 大錦 | 友浦 | 源氏 | 摩耶 |
| 紅葉川 | 宮城 | 源氏 | 常花 | 大錦 | 大甲 | 栃木 | 對馬 | 鶴濱 | 友浦 | 福柳 |
| 若湊 | 對馬 | 宮中 | 源氏 | 兩國 | 摩耶 | 大門 | 友浦 | 駒泉 | 東雲 | 鶴濱 |
| [illegible] | 源氏 | 八甲 | 摩耶 | 駒泉 | [illegible] | [illegible] | 常花 | 能代 | 福柳 | 大門 |
| 黒瀬川 | 大錦 | 對馬 | 福柳 | 友浦 | 九州 | 八甲 | 達矢 | 東雲 | 大甲 | 宮城 |
| [illegible] | 達矢 | 若太 | 八甲 | [illegible] | 駒泉 | 友浦 | や | や | や | や |
| [illegible] | 福柳 | 御西 | [illegible] | 鶴濱 | 八甲 | 駒泉 | [illegible] | 太門 | 達矢 | 大甲 |
| 小松山 | 大錦 | 大門 | 若太 | 御西 | 兩國 | 對馬 | 大甲 | 達矢 | 宮城 | 駒泉 |
| 鞍ケ嶽 | [illegible] | 東雲 | 駒泉 | 大甲 | 大門 | 九州 | 福柳 | 宮城 | 摩耶 | 友浦 |
| [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| [illegible] | 八甲 | 友浦 | 達矢 | 大門 | 御西 | や | や | や | や | や |
| 阿久津川 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 刀光 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

勝 八十八　負 九十七

**西**

| 力士 | 一日 | 二日 | 三日 | 四日 | 五日 | 六日 | 七日 | 八日 | 九日 | 十日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 栃木山 | 射水 | 大戸 | 清瀬 | 阿蘇 | 紅葉 | 三杉 | 矢筈 | 千葉 | 小牛 | [illegible] |
| 大錦 | 黒瀬 | 小牛 | 矢筈 | 紅葉 | 清瀬 | 阿蘇 | 射水 | 三杉 | 藤川 | 千葉 |
| 常ノ花 | 射水 | 矢筈 | 紅葉 | 阿蘇 | 小牛 | 藤川 | 若湊 | 千葉 | 三杉 | 清瀬 |
| 源氏山 | [illegible] | 紅葉 | 若湊 | 小牛 | 三杉 | 千葉 | 清瀬 | 藤川 | 射水 | 阿蘇 |
| 對馬洋 | 若湊 | 黒瀬 | 藤川 | 三杉 | 千葉 | 小松 | 紅葉 | 小牛 | 阿蘇 | 矢筈 |
| 兩國 | 鞍嶽 | 藤川 | 射水 | 若湊 | 小松 | 琴浦 | 千葉 | 清瀬 | 阿久 | 三杉 |
| 福柳 | 白岩 | 清瀬 | 黒瀬 | 千葉 | 矢筈 | 三杉 | 鞍嶽 | 阿蘇 | 若葉 | 紅葉 |
| 鶴ケ濱 | 清瀬 | 阿蘇 | 鞍嶽 | 若葉 | 大鳴 | 白岩 | 太刀 | 若湊 | 小牛 | 小松 |
| 摩耶ケ嶽 | 大戸 | 千葉 | 若葉 | 琴浦 | 若湊 | 清瀬 | 阿久 | 太刀 | 鞍嶽 | 射水 |
| 九州山 | 矢筈 | 大戸 | 阿蘇 | 白岩 | 黒瀬 | 鞍嶽 | 小牛 | 琴浦 | 清瀬 | 太刀 |
| 大ノ甲 | 阿蘇 | 三杉 | 千葉 | 鞍嶽 | 紅葉 | 射水 | 小松 | 阿久 | 黒瀬 | 白岩 |
| [illegible] | や | や | や | や | や | や | や | や | や | や |
| [illegible] | 太刀 | 小松 | 三杉 | 阿久 | 鞍嶽 | 若湊 | 阿蘇 | 白岩 | 琴浦 | 若葉 |
| 逆鉾 | や | や | や | や | や | や | や | や | や | や |
| 東雲 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 宇都宮 | や | や | や | や | や | や | や | や | や | や |
| [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 八甲山 | や | や | や | や | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

勝 九十　負 七十六

## 列車で負傷

二十三日午後零時半頃釜山發南大門行き第十一列車が汶川大田間運轉中機關車エーヤポンプ不具合の爲め乘務機關方東田義市は之が手當をなさんと室内に出んとして墜落頭部及び腰部に打撲傷を受けたるを以て大田鐵道病院に收容加療中なるが生命には別條無しと

## 閔泳翊氏夫人

市内寬勳洞竹洞宮故閔泳翊氏夫人貞敬夫人金芸貞氏（六〇）は男爵金永哲氏の長女にして十三歲の時同閔家に嫁し爾來四十有餘年の間苦を忍び女子ながらも男に劣らざる程の手腕を以て家庭の一切を整理し來りしが悲しくも六十の年を名殘として去る二十一日午後十時自宅に於て乳癌症にて逝去せしと

# 妻ある男を戀ふて
## 娼妓の一人心中
夫婦の切なる願みも聞かないで
### 恨みの劇藥を嚥む

罪の過去を如何しやうもなく住家に戻つて打振るへてゐたのである

初春以來龍山彌生遊廓には厭世墜き事件突發し市民の心を

**衝動せしめ** て居るが又復廿三日夜彌生樓娼妓たから事福岡縣生れ林さら（二〇）が劇藥一人心中を企てた椿事がある今事件の眞相を探究するに密は嘗て龍山大島町廿五番地煙草商藤本貫一（三五）とは馴染を重ね末はお定まりの女房と迄堅く約束したが貫一には近の事は

### 夫の放埒に

檀樓の妻貞子（二〇）と云があつて夫の心を元の純な心に仕やうと貫意を盡して意見した結果貫一も心を改め『此儘打過ごしたら却て怨まれやう夫れより逢つて綺麗に別れ話を仕て來やう』と二十三日夜十一時頃前記彌生樓に登樓資を聘らせて事情を打明け今迄の事は

**夢と諦め** て呉れと頼んだが女は容易に諦めず『貴郎に捨られたら妾は死にます』と血相變へて云ふので貫一も途方に呉れ二十四日午前一時頃女房貞子を電話にて呼び寄せ夫婦共々更に賴み込んだ處夫婦共謀して

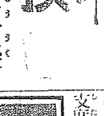
**偎を欺すんだ** と泣き叫び狂亂の湯何預て所持の亞コロムサン五瓦を嚥下して自殺を企てた夫婦は驚き早速幾野醫師を招き應急手當を施し胃洗滌まで施したが中々の重症で生命は助かるまいこの事である貫一は此の狀を見て全然悄氣返り『決して

**色男になる** ものでありません』と係官の前で頭を掻いた

## 藝苑

### 合同歌舞伎
京阪　片岡長七郎一座　廿四日から開演

京阪合同歌舞伎片岡長七郎、市川若蔵一行は廿四日花々しく町廻りを行ひ同日から壽館に於て開演したが一行には片岡二郎、松本銀杏、片岡存子、大谷友助、片岡長門金、片岡市之丞、綾條の顏揃ひだから定めて觀客に滿足を與へるであらう番組は『蝶花代萩』全六幕、大切所作事『大森彥七』



## 地獄耳

▲さき頃全燒した中島醫院は燒殘りに應急設備を施してゐたが二十日より一般患者の診療に應ずることゝなつた▲火災は母屋の裏手にあつた處の火爐から出たのであるが中島氏は其長女の急報に接して鎭火に努めて見たが▲火は既に床板に燃へ付いて如何ともすることの出來ぬを見るや夫人は其子供の救出を命じて氏は直ぐに病室に驅け付けた▲見ると入院患者は居らない氏は不審に堪へないので二度も三度も病室を見廻つたが矢張り居ないので若しものことはなかつたかと心配して居る時患者の父親が遣つて來て無事に避難させたことを告げたので氏は初めて安神して二階から降りた▲一方氏から子供の救出を命ぜられた夫人は締閉した子供室の障子戸を打破りて二人の子供を救出し猛火をくゞつて裏門から出て子供を交番に預け▲寢衣徒足の儘で火事場に歸らず當夜入院して居つた重患の三原英彦氏の親許の宅に驅け付けて安否を尋ねたものだ▲三原家では恰度患者を連れて歸つて來たばかりの處に院長の夫人が寢衣のまゝ見舞つたので非常に恐縮しショールを夫人に與へて歸らしめたとは近來の美談である▲中島家の火災に就て明治町の佐藤病院長は自宅を中島家の避難所として提供し、或は炊出しに其他の世話をなして居るが見るに見兼ねて親切に一同感謝の意を表して居ると

## 警察事故

府内齋洞八四金成鉉（二七）は本月八日貞洞一〇三李完吉方で自轉車一臺外一點で時計一個窃取▲水原郡半月面西二〇韓岐（二四）五日仁義洞一二六黃西秀方止宿中同家溫突から女襪四枚及靴一足、十三日黃金町三の二李昌老方でオーバーコートを窃取▲內資洞一二〇張大興（二六）十四日孫珠洞五飲食店で一錢飲食の罪で何れも鐘路署に引致された▲住所不定李白龍（一八）金昌基（一六）李元根（一八）は去月二十八日南山町二の二前田一郎及び本町二の五一雜貨商浦尾房一方で百數十圓の物品窃取▲黃金町六ノ一黃昌顯（二六）は外一名と共謀して元町一の三七中路江吉方で現金十五圓、金指輪五十圓外數點を窃取何れも西大門署に檢擧された▲十二月二十五日午後十一時大正館で內地人のポケットから現金十八圓入財布を掏り取つた犯人は目下西大門署に檢擧されて居るが被害者判明せず心當の者は同署に屆け出でよと▲蓬萊町二の三六穀車輛金山興（二〇）は南米倉町二八二米穀商李明甲方から白米五斗を窃取したが本町署に檢擧された

## 門口に捨兒

廿二日午後九時頃府內松月洞二八黃晳淵方裏門に生後六日位の鮮人男の棄兒があつたので黃は西大門署に屆出た同署で檢證の上黃の懇願に依り該兒を引渡した犯人は不明であるが生計困難なる爲めで黃一家が小供無きを見込んで棄てたものだと

## 警察官の行賞

二月二十七日密輸警察署に爆彈を投擲したる犯人組を逮捕したる本記者察官に對し本月十[illegible]

## 本町署演武始

▲二十一日[illegible]　本町署

## 國勢調査記念額面分布

[illegible]れ獻身的に活動し大に成績を擧げたので之が勞を犒ふ爲めに過般國勢院から金一封宛に感狀を[illegible]んと計畫中今回三重縣出身の日本畫家田中岳瑛氏に額面の執筆[illegible]傳ふべき好適記念品を造られる今日誠に賞すべきことである

## 典獄異動

去る十四日附任命せられたる典獄及典獄補の[illegible]

[illegible]

鐵道省にては本年度に於ける新て五列車即ち五十輛の鐵車を本しき試みとして鐵製に列車を年中に完成すべく目下設計中な[illegible]改造し急行列車一列車十輛として右に付き神戸運輸局に於て語[illegible]にても車輛が浮き上がつて脱線する樣な危險は絶對にない其如何に激しき故障があても毀損したり客に負傷させる樣な心配は[illegible]


# 大聖釋尊教示靈藥

鐵分ある丹にて製出せる靈藥は天下に非ず此の如き所然るべし…　▲賜皇太子殿下御台覽之榮▲國家陸軍衛生材料廠御用品▲帝國醫學博士高木兼寬閣下御賞用品▲全國特產品博覽會に於て有效賞牌受領…

定價　靈貫　壹ケ月分　貳圓　送料 内地十二錢 外地三十錢

北白川宮殿下御前御用商　高木蘇鐵

京都新門前中町十（高木醫院）振替大阪四七〇番

同業者協議ノ結果今般京城府内ニ於ケル値段ヲ左記ノ通リ定メ候也

# 石材値段

一、採石一切ニ付　金九十錢
一、間知一個ニ付　金參十參錢

京城採石組合同業者

# 燃料！

貯炭豐富に付御用命願上候　結氷の御用意は

官製煉炭　ピッチ入（二ツ穴）　開城以北一手販賣
岐陽煉炭　粘土入（三ツ穴）
長水院無煙粉炭　ピッチ入卵形（一手販賣）
岐陽無煙粉炭

平壤本町　朝鮮商工株式會社（電話長五〇一・四四二）

# 織元春相場低落

## 元から買へば五割安

常ニ良品ヲ廉價主義ノ弊店ハ多數商人ノ手ヲ經ズ直接販賣致シマス故一度御試シ品ヲ…御注文ハ男女年齡ヲ記シ御申込下サイ見計ヒ品ヲ御送リ致シマス…御氣ニ向ハヌ節ハ交換及ビ返金モ致シマス

銘仙　甲十一圓半　乙九圓
高貴織　拾四圓
上絹大島絣　九圓
精紡子裏　甲十六圓　乙四圓
男袖裏　四圓
花鳥臨セ羽裏　四圓
本毛セル　甲十四圓　乙十二圓
博多絹紬　女帶十一圓
男角帶　仕立五圓
女帶　二圓

山形縣米澤市　山口謹一商店

# プレミヤ萬年筆

の眞價は使ふた方に御聞き下さい
其使ひ心地のよい事　天下一品です

下關市赤間町　發賣元　山中開信堂支店

# 慶安太平記

第七十九席　小金井芦洲講演

丹三郎はニコ〳〵笑ひながら、丹『先づ小さい所から大きくなつて往かなけりやァ不可ぬ、仲間でも若黨でもそんなことは構はない 定『でげすが、お前さんにそんな仲間若黨奉公なんぞが出來ますかい 丹『出來るとも、大出來だ、是でも播州に居た時に少しばかりやつたことがある 定『ヘエー、そんなことを遊んなすつたか其奴ァ感心だ 丹『仔細あつて兩親の姓名は申し述べられぬが、俺は明石の者で戸村丹三郎と云ふ、親父の稼業が嫌で生家を飛出して播州の姫路に行つてな、乃公の家に元奉公をして居た男が人入れ元締といふのをやつて居たから、其處へ尋ねて往つて仲間奉公をした 定『アゝ然うですかい夫れぢや、丸ツきり素人と言ふ譯ぢやねいや 丹『俺がお世話を致しませう 丹『ハア左樣か 定『江戸の京橋五郎兵衛町に金田屋政五郎と言ふ是ァ諸家樣に人入れをして居る大元締、此の政五郎は俺の兄弟分ですから手紙を付けて上げませう、大勢乾兒もありまして兎に角大きくやつて居りますから、お前さんのすきな所へ奉公に入れませうからね 丹『イヤ、夫れは千萬忝ない』御々世話好きの定五郎義俠にも富んで居るが、自分の家に三日三晩も逗留して勘定がない、そんな者を一々世話してゐたのでは商賣になりませんが、是れが俗に言ふ氣の合つたこいふのか、何處となく好いたらしい男でありますから酒を飲ませ飯を食はせ、手紙を書いて別に金子を二兩當座の小遣ひと言つて與れました、喜ぶまいことか丹三郎、茲で着物から大小を花屋に預け仲間奉公に行くのだから夫れ相當の衣類を借り込んで 丹『夫れでは親分行つて來る 定『丹三郎さんさやら、隨分御出世をなせりまし 丹『大きに辱けない』と窮すれば通ずる何か仕合せになるか分かりませぬ、其儘手紙を懷中に入れてスタ〳〵スタ〳〵江戸表に入つて來た、初めて大江戸の街へ足を入れたのでありますから見る物聞く物總てが物珍しく感じた、何しろ八百萬石の將軍家のお膝元、武家の淵源であります、愛で是非何んとか身を立てやうと決心をして兩側を見ながら新橋から京橋の五郎兵衛町、金田屋政五郎と聞くと直に分つた、屋敷お出入の人入稼業、華美な商賣柄だけに表の飾りなども誠に立派で荒い格子が拭き込んで、掃除なども實に能く行屆いて居る、丹『ア、何うも何んだな、姫路の二階屋町若狹屋とは大きに樣子が違ふ』と思ひながらガラ〳〵と格子を明け 丹『許せよ ハイご免…』乾兒が飛出して來て見るこ軀幹の大きい男 ○『何でい、恐ろしい大風な奴だが、何處から來なすつたい 丹『ア、金田屋政五郎さいふのは當家かな ○『ナ何んだと、大仰なことを言ふない 元締の家は此所だが お前は何だ 丹『拙者は品川宿の花屋から書面を持つて來たのだが主人の政五郎が居るなら一寸取次いで與れ ○『恐ろしいボン〳〵言やァがつて、少し待つて居ねえ、丁度元締は家に居なさるから……』差出した手紙を受取つて奥へ入り ○『エ、親分、何んだ』○『年若の態體の大きい見たばかりで強さうな野郎が大風な口を利いて來ましたぜ、許せツと斯う言やァがるんで、お出入り屋敷から御用人でも入らしつたのかと思つて飛出して見るこ金田屋政五郎は當家か、主人政五郎が居るなら品川の花屋から手紙を持つて來たのだが宜しく取次いで與れろと斯う言やァがるんで 政『フム……』

各種の染物は(龍山三角地)の京都 京屋京染店 電話七五一番 振替京城八壹武壹番 出張 初見本 御覧々

最も安値な 和洋折衷宴會 八景園新白水で 新年宴會其他に御利用を致します…………(電龍山四六番)

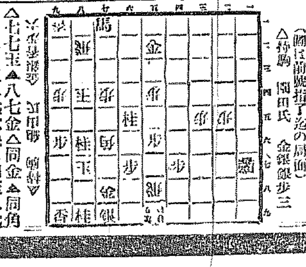
鍋 寄せ鍋 ちり鍋 金 會席料理 仕出し 本町五丁目 權平庵

## 將棋新手合(完)

於京城黄金町三丁目二二五 潛居朱將棊所

先手 三段 船山揮次郎(釜山)
平手 二段 園田 豐(釜山)

(圖は前號指了迄の局面)
△持駒 園田氏 金銀銀歩三



△七七玉 ▲八七金 △同金 ▲同角ナル △同玉 ▲七六銀 △同玉 ▲七五歩 △八七玉 ▲七六金 △九七玉 ▲八六金 △同玉 ▲五六飛ナル △六六銀 ▲八五香 △九七玉 ▲六七龍 △七七歩 ▲八三飛 △五一角打 迄にて園田氏の勝

內科小兒科 皮膚花柳科 永樂醫院 院長 今村純義 京城永樂町二ノ七 西本願寺前 電話一九四四番

一月二十六日 (舊曆)十二月廿九日 ▲水曜日 ▲己丑 ▲八白 ▲大安 ▲建

▼八白▲焦つても〳〵効果なく油斷なり難き日遠くへの旅行凶
▼九紫▲存外の幸福に出逢ふ日心正しければ何事に用ゐても吉
▼一白▲紛々の起り易く賣り買ひ損ひの日大きな取引見合
▼二黑▲思想の變化ある日常の事は妨けなきも新事面白からず
▼三碧▲內外共に滯り多く利益にならぬ事に眼潰す事あるべし
▼四綠▲謹まざれば僅のことより大破れを醸す日小兒衛生用心
▼五黃▲概ね逆運なるも自ら勤むる所に怠なれば發展を見る日
▼六白▲諸事期待に背かず至つて好調の日進むほど大利を占む
▼七赤▲天地和合の日開店も旅行も結婚も其他何事にも上首尾


腸胃カタルの病狀を放擲すべからず

僅少の食過ぎ、腹冷え位ひでスグ下痢腹痛を起す、斯樣な人は如何に滋養豊富の食料を攝取しても、その都度下痢のために折角の滋養物も何等滋養とならず、大部分徒に外に排泄されてしまふ。斯かる狀態にては絶えず榮養不足勝で、顔色青褪め、肉が落ちて元氣がなくなる。腸胃虚弱は腸胃病ばかりでなく、彼の恐るべき肺病の如きも此腸胃虚弱の營養不良者に多いのである。されば慢性の腸胃カタルは勿論、急性の腸胃諸病の起りたる時は、速に治療を斷行せねばならぬ。如何に輕くとも腹工合の悪しき時は必ず相當の治療を怠つてはならぬ。本劑は前宮內省侍醫 柏村博士の處方に係る高級腸胃藥にして、彼の世に有觸れた單純なる下痢止劑と異り、消化殺菌健胃の作用が腸胃一切の病源を剷除し、榮養の腸胃を健全にする理想の腸胃藥である。

人格一生に高き— 前宮內省侍醫 柏村博士創製

理想的腸胃藥 ヘルプ

主効 ▼食過▼食傷▼水あたり▼時候あたり▼腹冷▼冷腹▼消化不良等より起る■下痢腹痛■吐瀉■澁り腹■腸瓦斯を止め■腸カタル■胃カタルを治す

(定價)三十錢旅行用ポケット型五十錢 徳用一圓、三圓、六圓
本舗 東京日本橋本銀町 津村敬天堂
▼各地藥店にあり▲



最新發賣の逸品

新しく 高級純クレーム

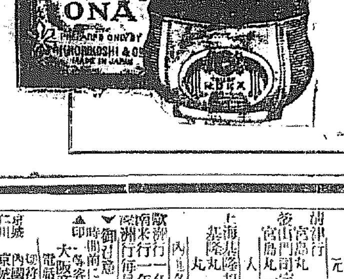
化粧界の流行を作り、發賣早々飛ぶ樣に良く賣れ、新記錄を示したクリーム

男女兩用の理想的化粧料 ホーカーオナー

ホーカーオナーが肌の爲め如何に良いかは一度お用ひになつた方が外のクレームは用はれぬと云はれる事に徴しても明かです

特色
キメを細かにし肌をスベ〳〵さす
凡ての肌のアレを防ぎ色白くなる
子供衆の肌を强め色艶を生々さす
白粉のノリノビを善くするに一等
ヒゲソリ後のカミソリ負をふせぐ

肌アレをふせぐに最も卓效ある事を保證致します




(定價小壜拾五錢大壜六拾五錢 送費內地無料 朝鮮四拾錢)

ホーカー液ホーカー白粉ホーカークリーム白粉 ホーカーバツトホーカー美髮液ホーカーオナー 本舗
堀越嘉太郎商店 東京神田和泉橋 振替東京一五六 電話神田一四三、一四四、一四五



うまい葡萄酒

芳醇にして滋養豊富、特殊の美味佳香を有する四季の好飲料

◎ミツワポートワイン

ミツワポートワインは、最新の學理と豊富なる經驗とに基き、精製せるもので、鮮麗なる淡紫赤色を呈して、清澄透明、着色又は割水等の操作を施さず、特殊の美味佳香を有して、極めて甘美の好飲料である、常に適量を用ふれば、精神の爽快、血行の良好、元氣の充溢、動作の活潑、病苦の除去、病弱の恢復、體力の增進等に著効を奏し、尚食慾を進め、消化を助け、消化物の吸收を促し、疲勞を去り、衰弱を防ぎ、精力を旺盛にし、營養の佳良を來すものである、要するに本品は品質頗る純良にして、興奮、健胃、强壯等の効力を有し、人體活力の源泉として推奨すべき、特殊の美味佳香を有し、何人の嗜好にも適應せる

四季常用のうまい葡萄酒である

ミツワ石鹸 ◎ ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橘町四丁目 振替東京一七〇番 丸見屋商店 營業部電話浪花三〇四八・四九・五〇番

1-3



日本郵船出帆
高砂丸 月 日正午出帆
濟州丸 月 日正午出帆
花咲丸 月 日午前出帆

共同汽船出帆
第二共同丸 月 日 ［illegible］

尼崎汽船出帆
一心丸 月 日
神代丸 月 日
秀吉丸 月廿六日

互光商會汽船出帆
第三［illegible］ 一月三十日門司宇品神戸大阪行
第三［illegible］ 二月九日元山城津清津行 元山發
一月廿八日 釜山門司神戸大阪行

朝鮮郵船定期
元山出帆（取扱店吉田運漕會社）
京城丸 清津丸 [illegible]
釜山出帆（取扱店大池回漕店）
成鏡丸 會寧丸 新義州丸 京畿丸 清津丸 金海丸 昌平丸 濟州丸 [illegible]
木浦出帆（取扱店）
下關丸 成鏡丸 安興丸 公州丸 慶州丸 新義州丸 [illegible]
仁川出帆（取扱店堀回漕店）
平安丸 成鏡丸 全州丸 鎭江丸 盈德丸 江原丸 [illegible]

大阪商船出帆
群山木浦大阪行 天智丸 石見丸
鎭南浦行 長良川
清津行 宮島丸
釜山門司宇品神戸大阪行 宮島丸
上海基隆打狗行 基隆丸
歐洲行 南米行 濠洲行 [illegible]
大阪商船株式會社仁川支店 電話二二〇番
京城 仁川 內國通運會社支店 [illegible]

婦人聯合會にては刑法第百三十八條の有夫姦の處罰を有妻の男子にも適用すること並に在外醜業婦の取締に關する法律の制定に關し請願

## 淸瀨代議士

國民黨代議士淸瀨一郎氏は左の質問趣意書を衆議院に提出した

……及數名に放火せりとの事件に關する質問趣意書

# 金利の低落時代

## 朝鮮開發事業の着手好期

### 藤森一銀支配人談

金融界の大勢より見て金利の低落は爭はれず內地主要銀行の利下相踵ぎ當地にても軟調を持續してゐるが更に低落の機運にあり思ふに戰時異常の好況後反動期に入りたる金融界は金利の低落趨勢に相當長期に亘るものと見てよろしい從つて公債社債等の發行は頗る有利になし遂げらるる時期に入る譯である朝鮮の如き手つ取早く勝負の分るやうな事業の要求乏しく當面急要を論ぜらる事業と曰へば鐵道とか土地の改良とか水利とか云相當長期に亘る

### 事業の企畫

に見逃がす資金を擁せねば其著手の出來ぬ土地では此の金利の低落時代はすべからざる時期と思ふ政府は公債の發行によつて民間は東拓の社債や殖銀の債券や又はその他の方法により低利の資金を流入し企業を進めて鮮內の開發を期せねばならぬ金利の低落時代は即ち景氣の上らざる時代は概して左樣な方面の事業も鎭靜する傾向あれども好景氣時代は自然金利の騰貴を促し或は長期資金の收入至難となり事業を興すにも不利があるのである

# 一銀の移轉と金融界

## 當面の變化如何＝漢銀伸張か

第一銀行京城支店は二十四日本町より南大門通りの新築行舍に移轉したるが京城金融界に勢力ある同行の移轉は各銀行營業上相當の變化を來すべしとの觀測出で斯界の人々は結果の如何に興味を持ち居れり差し向き一銀の移轉により利益を受くべきは實業銀行を始とし百卅銀行商業銀行本町支店の三行なるべく殊に一銀の所在地が本町なるの故を以て便利の點より取引しつゝある小口預金並に小口の貸出割引等は當然稍遠隔となれる一銀を去り前記諸行に向ふにあらざるか一銀當局もそは避け難からんとの意見なれど同行としてさしたる痛痒事にあらざるが如し又一銀の南大門通り進出後多少宛の動搖切り崩しを受くるは南大門通り所在の銀行殊に殖銀十八銀行商業銀行漢城銀行等にて信用と基礎の關板けて鞏固なる同行の進展は若干の侵害を受くる事避け難きにあらずや結局一銀としては得失なき位ならんも將來を見れば京城の商業中心は南大門通並に鐘路通りに集中する趨勢につき其移轉は賢路ならん尙ほ本町の一銀支店跡は漢城銀行にて之れを借り受け本町派出所を出さんとする計畫あり既に當局の了解を經目下一銀との間に交渉中なるが漢銀の進出實現せば更に若干の形勢變移を生み來るべし

# 郵貯增加

## 千七百萬圓臺

總督府遞信局貯金課の調査によれば二十一日現在鮮內貯金口數は百三十九萬三千八百餘口にして金額は千七百二十三萬五千餘圓にて之を月初めに比較するに約百萬圓の增加なり又最近舊節季を目前に控へ鮮人側手許金融の逼迫を聞くも郵便貯金に表はれたる數字面にては鮮人側貯金額も寧ろ增加の傾向にて月初め鮮人側貯金額二百六十九萬圓に對し二十一日現在は二百七十三萬圓を算し居れり

# 米價に動く

## 地方金融

朝鮮財界の盛衰は米價に左右さる、事多きが最近の如く內地不賣同盟の結束より正米安となりては內地の注文俄に細り朝鮮の商人は安値の買付をなさず生産者は放賣を中止する有樣にて廻米俄に減じ惹て地方金融の杜絕となり購買力の減退となるを常とす地方に支店關係を有する各銀行の金融繁閑は米價に懸かる事多く最近の金融閑散は一因その點にありと

## 稍安定的

一方又諸石に納税期に入れると一般越年資金準備のため各地徐々遡米を見之に應じ米穀資金の需要喚起せられたるも株式界其他一般商品界は殆んど大同小異にして依然として不振狀態より脫する能はざりしを以て金融界亦頗る靜穩に經過し不期を移れり要するに當期の經濟界は前期の急轉的なりしに比し稍安定的なるを得しも前途の如く物價漸落商勢不振の裡にあり加ふるに前期以來各方面に亘りて大小の打擊を被らざるもの稀に商途亦俄に逆睹す可らさる間に處して大體に於て平靜無事なるを得たるは寧ろ財界の慶事と謂ふべし顧て當行の業績を見るに財界の狀勢上述の如くなりしを以て終始閑散裡に推移し貸出組減預金漸增の形勢を辿り倉庫業も亦自ら豫期の進展を見る能はざりしも慎重努力の結果能く前期に劣らざる成績を收むる事を得たり

# 一流尙ほ二錢

## 金利高低の幅縮む

內地の貸出利率低下に伴ひ京城の金利も軟調を續け既報の如く三三銀行の利下となりたるが尙ほ一流商業手形にて割引三錢を維持し居り二錢臺に落ちず從つて現下の金利は最高最低の幅漸次縮少の模樣なり

## 京鐵失權株

去る十三日締切りたる京南鐵道第二回拂込みの失權株數は金融不圓滑の折柄約一萬八千株にて該株は競賣の上若し第二回拂込み額に不足を生ぜば更に商法により追徵すべきが大體沒收にて終るべきかと

## 私鐵評議員會

朝鮮私設鐵道協會にては二十六日評議員會を殖産銀行樓上に開會する由なるが本年度の豫算總會に關する問題等につき協議すべしと

## 三銀行總會

二十五日午後は市中三銀行の前年下半期株主總會あり即ち左の如し

實業銀行（公會堂）朝鮮商業銀行（銀行集會所）漢城銀行（本店）

## 大正土地總會

大正土地建物株式會社にては來る廿日午後一時より商業會議所に於て第一回定時株主總會を開催し營業報告其他の承認を求むべきが同期總利益金二萬六千六百五十二圓五十五錢總損失金一萬九千六百四十二圓四十六錢にして純益金六千四百十二圓九錢の利益分配案左の如し

一金四百圓　法定積立金
一金武百圓　器具什器償却金
一金武千圓　家屋償却金
一三千八百十二圓九錢　後期繰越

## 財界閑話

一銀支店も二十四日から南大門通りの新築行舍に移轉した▲宏壯なる建物で營業所なども頗る廣濶な樂光窓口等殆ど遺憾なし支配人室の如き約三十坪もある▲同行の移轉は爲に金融界に波動を與へさうだ▲漢銀が早くも本町派出所を一銀アトに設うなどは素早い▲東取開業披露宴の席上釘本君の挨拶中株式取引機關の必要は二十年來提唱されつゝある問題と云ふ語句があつた▲廿年前と曰へば日露戰爭前だがその當時幾何の株式會社と幾許の株が朝鮮にあつたらうと陰口を叩いてゐる人もあつた▲金利の低落から株價の昂騰を期待してゐる向きが多い

# 下半財界趨勢

## 岩崎商銀支配人の談

商銀は二十五日銀行集會所に於て株主總會を開く事となりしが下半財界の趨勢につき岩崎支配人は語る前期以來戰後好況の反動期に入りし經濟界は本期を迎ふるも容易に立直り模樣を見せず暴落に暴落を重ねし

### 三品諸株

を初め主要商品は日を逐ふて更に下落するの狀を呈しこれ迄市況不振を通り越し寂寥を極めたる八月中旬多大の希望を以て開業せし京城株式現物取引市場の如き更に豫期の殷賑を見ず比較的閑散なる維持せし米價亦九月に入り俄然暴落して期初の四十五圓臺を下らざりしもの今や三十五圓を唱ふるに至り一般購買力の遞減を加ふるに內地市場に於ける棉糸布諸株の不振、互商の前途の悲觀材料頗る多く前途更に持餘されし滿洲栗の産地高にて市況漸騰し恰も月末棉糸布好況諸株亦一齊擡頭の氣勢を傳ふるに會し市況一分の暮色を帶びて再び反落に轉じたる現象に過ぎずして晩春以來久しきに亘る深甚なる打擊を受けしに由なく殊に朝鮮の

### 主要産物

たる米作は徒らに豐穰にして價格益崩落を重ね甚しく地方人氣を腐らし例年の出穀期に入りて却て閑散なるが如く商賈亦更に先安を見込みて買付けず從て鮮人向き物貨動き得ず製造業者の如き手許は常に潤澤なるに拘らず豫期の需要を見るに至らず然るに昨年來內鮮各地に米穀不賣同盟提唱せられ大に價格の釣上を試みたるに刺戟せられて米價は幾分の引戾を見更に來相場を見越して多少の好氣配を呈

# 株式（廿四日）

## 現株市場出來値

| 銘柄 | 前場 今週中 | 前場 來週中 | 後場 今週中 | 後場 來週中 |
|---|---|---|---|---|
| 京取 引寄 | 三三・〇〇 三三・一〇 | … | … | 三三・一〇 三三・一〇 |
| 殖新 引寄 | 一四・七〇 | 一四・七〇 | 一四・八〇 | … |
| 東新 寄 | 一六・三〇 | … | 一五・九〇 | … |
| 東新 引寄 | 三六・七〇 | 三六・七〇 三六・九〇 | 三六・八〇 | … |
| 仁取 引寄 | 一三四・〇〇 | … | 一三一・八〇 | … |
| 鮮銀 引寄 | … | … | … | … |
| 同新 引寄 | 四三・〇〇 | 四一・四〇 | 四一・九〇 | 四一・四〇 |
| 殖銀 引寄 | … | … | 三三・〇〇 | … |
| 貴銀 引寄 | 八・七〇 | … | 八・七〇 | … |
| 商銀 引寄 | 四二・六〇 | … | 四二・三〇 | … |
| 同新 引寄 | 二一・三〇 | … | 二一・三〇 | … |
| 漢銀 引寄 | 三一・八〇 | … | 三一・一〇 | … |
| 同新 引寄 | … | … | … | … |
| 韓銀 引寄 | 三一・三〇 | … | 三一・三〇 | … |
| 東拓 引寄 | 三六・八〇 | 三六・八〇 | 三五・九〇 | … |
| 鮮土 引寄 | 一一・三〇 | … | 一一・〇〇 | … |
| 朝紡 引寄 | 一六・四〇 一六・九〇 | … | 一六・九〇 一七・〇〇 | 一六・九〇 一六・九〇 |
| 滿毛 引寄 | 一三・六〇 | … | 一三・七〇 | 一三・八〇 |
| 京電 引寄 | 四八・〇〇 | … | 四七・九〇 | … |
| 同新 引寄 | 二四・〇〇 | … | 二三・七〇 | … |
| 電鐵 引寄 | 九・〇〇 | … | 九・一〇 | … |
| 東亞 引寄 | 五九・三〇 | … | 五九・〇〇 | … |
| 朝燐 引寄 | 三八・〇〇 | … | 三八・三〇 | … |
| 朝郵 引寄 | 三三・〇〇 | … | 三三・九〇 | … |
| 殖鐵 引寄 | 八・九〇 | … | 九・三〇 | … |
| 中鐵 引寄 | 三三・三〇 | … | 三三・三〇 | … |
| 滿鐵 引寄 | 一二四・三〇 | … | 一二四・〇〇 | … |
| 同新 引寄 | 二四・九〇 | … | 二四・三〇 | … |

## 東京期株特電

| 銘柄 | 二十四日前場 | 廿二日後場 |
|---|---|---|
| 鮮銀 | 一二三・〇〇 | |
| 同新 | 四二・〇〇 | |
| 東拓 | 五〇・〇〇 | |
| 同新 | 一五・〇〇 | |
| 滿鐵 | 一二三・五〇 | |
| 同新 | 三三・〇〇 | |
| 東株 | 一五一・五〇 | |
| 同新 | 一四・〇〇 | |
| 東取 | 二六・三〇 | |
| 滿毛 | 七八・〇〇 | |
| 朝紡 | 三六・五〇 | |
| 滿雄 | 一二・〇〇 | |
| 日紡 | 一三・〇〇 | |

## 大阪株式特電

| 銘柄 | 二十四日前場寄付 | 二十二日後場大引 |
|---|---|---|
| 大株 | 一二〇・九〇 | |
| 同新 | 七〇・六〇 | |
| 郵船 | 三七・五〇 | |
| 同新 | 五一・五〇 | |
| 商船 | 六三・七〇 | |
| 同新 | 二〇・三〇 | |
| 鐘紡 | 二四七・〇〇 | |
| 同新 | 一三〇・五〇 | |
| 東紡 | 一一五・九〇 | |
| 東株 | 七六・四〇 | |
| 上取 | 七二・六〇 | |

| 銘柄 | 二十四日前場大引 | 二十四日後場寄付 |
|---|---|---|
| 大株 | 一二〇・一〇 | 一二〇・五〇 |
| 同新 | 七〇・二〇 | 七一・〇〇 |
| 郵船 | 三六・〇〇 | 三七・五〇 |
| 同新 | 五二・〇〇 | 五一・六〇 |
| 商船 | 六三・九〇 | 六三・八〇 |
| 同新 | … | 二〇・六〇 |
| 鐘紡 | 二〇七・一〇 | 二四七・七〇 |
| 同新 | 一一・〇〇 | 一三〇・六〇 |
| 東紡 | 一五・七〇 | 一一五・九〇 |
| 東株 | 七六・九〇 | 七六・五〇 |
| 上取 | 七二・〇〇 | 七一・九〇 |

## 大連株式特電

| 〇二十二日 | 寄付 | 止め |
|---|---|---|
| 取引所 當限 | 三五・六〇 | 三五・五〇 |
| 取引所 先限 | 三五・九〇 | 三六・一〇 |
| 東實 | … | … |
| 滿鐵 | … | … |
| 同新 | 二四・九〇 | 二五・四〇 |

## 安東株式特電

〇二十四日　安取先　寄付　一六・五〇　大引　一六・七〇

# 前場は保合

場面は全く燒付態となつて生氣を缺ぐ事夥だしい之れ金融の緩漫なるも云爲さるゝも共れは極めて一少部分に過ぎずして居る今日勢は依は一般信用の收縮して居るの際なしは余儀ない高い金利を拂つても眼先の一樂しみさへ得れば金相場を動かずが人情なれど目下の株界としてそれも望まれない處から寄附より外ず買はなかつたので不氣乗りが續くるより外ないのであらう今朝も朝紡電興の稍氣強かりし外は相變らず二十錢の小高下を繰返すのみで特筆すべき材料は一も見當らなかつた

# 後場も同事

後場も依然一二十錢方の高低にて見るべき商ひは行はれなかつた只朝紡の人氣が稍引立ちて今來共に三四の歩み値を附けたるも東拓等の九十錢安が多少目立ちて其他は全然保合模樣である時は乙部は一枚の商ひもなく閑散な場面であつた

# 朝紡氣强し

朝紡は今朝稍目立ちたる買物を呼び十六圓四十錢に寄付いて九十錢を引け前日より七十錢方の引締りを見せた同社は最近百萬圓の社債を發行して事業の擴張を圖ることになつたから從來第三回拂込みを懸念し且つ苦痛として恐れなくなつたので賣拂込迄の手控の安心もありそれに七朱の補給付きと云ふ向も之れで常分拂込は無いと見られ時價十五圓見當は割引とても安いと云ふので弗々買氣を掛けて居るが折柄三品高に依る內地紡績株の氣緩りは多少の好感を與へて前の如き小締りとなつた模樣である

可驚電報
株式 期米 綿糸 通信
大阪仁川期米電報ハ京城局ヨリ打電スレバ實驗上直接ヨリモ確カニ早ク着電ス可
京城南大門通二丁目
朝鮮商業通信社

# 電興買人氣

電興は最近業務の刷新を計つて以來成績極めて良好とあつて消息通は早くより之れを買狙つて居たが東拓からの借入金交渉も圓滿に成立しさうであり近頃は又煉炭の製造を開始し廣く販路を求めんとしてあり尙ほ所有鑛區の如き細密なる調査を了り頗る有望であることを證せられ更に近く鎭南浦へ移轉する計畫あり前期までは無配であつたが次期からは一割位ゐの配當は出來さうだといふので八分買物が這入つて居る模樣であるが期合に賣物が少なく爲に五圓臺に落込んだ當時會社筋が少からず讒へた形跡もありて無いもの高の人氣となり今朝は遂に九圓丁度を付けまだ多少の伸力はあると稱せられて居た

# 前場ノ乙部

安取十七圓四十錢▲大新七十一圓▲東拓端株五十七圓

出來高　甲　千七百五十枚　乙　三百[illegible]枚
累計　甲　十一萬三千七百八十枚　乙　九千三百五十四枚

# 取引所の改造問題

## 其後の雲行

取引所法改正案に關しては農商務省調査委員會に於て昨年來屢々協議を重ねてゐたが最近小委員會に於て三個の成案が稔出された第一案は理想的改革案で第二案は微温的折衷案にして第三案は現狀維持案である此三案中何れが實現すべきかは素より疑問中の疑問に屬すと雖も取引所改造問題が漸く一般頭惱を刺戟せるは蔽ふべからざる事實である元來會員組識に就ては當局は行政上不認可の方針を把つたゐたが今日では理想に接近せしむると云ふ方針で會員組織も可及的に之を認容すると云ふ態度になつて來た從來同一地區には一個所の外絕對に許可せず取引所は殆ど獨占的性質を帶びてゐたが今後は此見解にも多少變改を加へられさうな狀態である當局が最近法人の會員及仲買人をも認容し現物取引市場を認め現物取引繰延法を容れて定期取引さの聯合を圖るなど當局の態度は明瞭に變つて來た聽て證券現物市場及び正米市場を許可し一面投機思惑心を抑壓すると共に實際經濟の要求に應じ決濟の方法を採用する如き場合あらば現在の取引所は果して如何なる結果に陷るであらうか取引所改造問題は時代の要求する所である現物取引市場は現に證券交換所が磯部四郎氏を頭に戴き事業の經營をやつて居る坂本町市場も亦之に對抗すべく齋藤氏を主唱として現物組合の中堅として品川に現物取引所を設立すべく村野常右衛門氏を推立て運動中である現在の取引所に對して此傾向が如何に影響を加へ來るかも思ひ半ばに過ぐるのである

# 天體と相場

某天文學者が天體と相場との關係を說いて曰く、今月の二十二日は金星と木星との關係で相場は確かに其の日から下げ足が附くる、昨年の三月下げ足が附いたのは矢張り此日からである、昨年から五月迄へ八ヶ月間の中段の保合にして更に一段下げねばならぬ追込まれる所がなければならぬ若し此日に岐れ相場が出ますると二月の務會から瓦落相場が實現するかも知れぬ、此三ヶ月中には昨年十月東株の安値百圓五十錢を拔く事があらう、米國も一應戾しを濟まして愈々第二の恐慌時代に入るのである

# 商勢聊か鈍り來る

## 北濱見聞

▲銀塊一昨日來の暴騰を始め米棉木綿糸も反撥模樣となつて今朝の氣配は無論惡ろくなかつたのである▲然るに買法が東京の株が飢ぬ顏して買法が立つて見ると反落で此頃の場面は飢もやらねがホンヤサを見せた▲金融の緩漫が少からず株界の模を培養して居るのは云へ未だ此の十事を以て無限の高値を夢想するこの非なるからには相應買上げて來た此邊に利喰急ぐは偶然でない▲其だけ昨今の一服模樣は日して居ちに買氣一巡の結果と斷定するのも早計か知らぬがし寧ろ喰ひ足ぬ氣味で下手な追證ぶる底堅さに一呼吸後の好望を繫ぐが爲しむる點はあるけれど仲間やうになつたのは相場の謂れる事實である▲さと云ふて頭打と見るまでの氣味で

# 株界片々

市場の開業披露宴が二十三日朝鮮ホテルで催されたが例に依り釘本君の挨拶に對して老巧な現物市場の子分が充分に御披露になつた手腕を示されてから皮肉にも注目されたことがあつたには▲既往を顧みて皮肉に開けた▲仲買側代表の川崎新委員長が昔は金を儲けたい爲めに仲買になつたのでない一般の便宜を計りたい爲めになつたさうだ▲たのは少々恐れ入つた▲尤も現在では離れても儲けた者が居ないからあれて間に合ふかも知れぬ▲委員長さ言へば前委員長の田中君は釘本峰尾最後に古城背望君の斷告となつて仲買の廢業沙汰ひ止まつた▲一仲買の廢業沙汰さしては隨分大きな波紋を描いた社會はそれだけ君の功績を認め君を重要視して居る譯だ今後の發展を新つて置く▲何でも仲買人組合並びに關係者は君を遇するに組合の相談役を以てし今後も仲買人組合の爲め市場の爲めに一臂の力を藉らうさの議があるさうだ

▲市場の中心は矢張り大株鐘紡で此等に對する買方の腰入れは途日強硬を加ふると共に賣方の態度も又之に劣らぬだけ定期では可なりの取組ある割に値は動き得ぬ▲然し延ではより以上の大商盛を續けて兩株のみは買方の掌裡にあるが如く定期を上廻つて大株百二十三圓大新七十一圓八十錢鐘新二百三十四圓五十錢と買煽られたなど一寸凄味があつた▲斯くなると腹は入れても止むを得ざるに出た賣方の腰入れが買方程でない不安に一種の脅威が感じられるも仕方がない

ない以上目先として此種の賣物が尙ほ續くや更に安値待に新規買か盛返すやの小變化に外なるまい

# 正米の成行次第

[illegible]米の成行きを見極め互に臨機處置せんとするものゝ如し

仁川期米　福

## 賣買差引殘

賣方　㊀一、四〇〇▲㊁一、七〇〇▲㊂三、〇〇〇▲㊃一〇〇▲八〇〇▲入市二〇〇▲㊄三〇〇▲㊅一〇〇〇▲㊆二、八〇〇▲力一、七〇〇▲㊇三〇〇▲㊈二〇〇▲司七〇〇▲又九二〇〇▲丸北一〇〇

買方　三引一、九〇〇▲㊉二、五〇〇▲一、二〇〇▲㊊二、八〇〇▲㊋二、五〇〇▲㊌一、二〇〇▲㊍四、四〇〇▲全一〇〇▲㊎四、二〇〇

賣方十五、買方九

〇廿四日前場　▲二十二日後場

| | 廿四日前場 | 二十二日後場 |
|---|---|---|
| 寄付 | 二三・四四 | 二三・四九 |
| 止値 | 二三・五三 | 二三・三八 |
| 高値 | 二三・六八 | 二三・五〇 |

# 京城延取引

## 玄米

現物は別項事情にて今朝多少氣緩まり模樣なるも依然軟弱にして昨日の二十一圓七十錢に對し…

## 大豆

期日物受渡しは既に大半之を了しも尙未了交涉中のもの少からず之等は多く約定値と時價差金の辨濟を以つて解決を告げんとする模樣あり併し中には現品受渡し決行等の買物なきにあらざるも此側には之の狀態は既報品間への折柄市況の姿を呈し新規買物杜絕の爲め各地滿腹る買筋の外更に買人なくて不振閑散を告げ唱へ區々ながらも金郊汗浦十一圓一二十錢賣十圓七八十錢買の見當唱へつゝあり

## 滿洲粟

地方賣薦口入の賣機飢地の輸送さも唱へられ未だ其眞相明らかならざるも小口ながら玆一部手筋の買望みあり昨日は四平街吉一車七圓二十錢の手合ひあり外今朝は營口二車釜山受渡しにて六圓八十錢に出來せり

# 前場商內

各期出來不申

二十二日後場商內
各期出來不申

| | 玄米 | 白米 |
|---|---|---|
| 二月末 | 二〇〇石 | …… |
| 三月中 | 六〇〇石 | …… |

# 米況（廿四日）

## 仁川期米

### 前場

休日前阪地の氣乘薄と正米の發展を懸念し小口の投げ添へて日曜明けを懸念し安値を喚び二十二圓三十八錢と安値に保合を演じたるが引跡阪地の氣配變らざるに依り今朝は當中出來ず二十二圓四十四錢と前日と六丁高の依然たる氣迷ひに寄付きたり

▲第二節　當限の賣りに二十圓中旬の賣りに二十四圓三十三錢と米軟に仲び十八錢と強含みしも依然たる防戰にて十六圓十八錢と上げ寄を移せしが忽ち買氣を刺戟して二十八錢と騰上げ三錢を手堅く持合ひに引

▲第三節　當限出來ざるが中三十錢先五十四錢に始め七錢と縮り三錢と保合ひに引く

▲第四節　當限出來す中三錢先五十三錢に始めしも先大阪二十八錢の高移りに六十六錢と跳返したるも正米の重き成行きに賣氣盛んにて五十八錢に下押して引

▲第五節　當中出來ず先五十六錢より二錢と緩み四錢と持合ひに引

▲第六節　當限⑦寄りに十九圓九十九錢より二十圓丁度ら強み先五十四錢と始め一錢と小弛みたるも押目買に防ぎ七錢に手堅く大引せり

### 後場小競り合

第一節　大阪前止め六圓丁度後寄五圓九十九錢の氣乘り薄を移し當中限二十二圓四十八錢

▲第二節　當中出來ず大阪跡小高模樣に先五十一錢と始め九錢を持上げしも仲が添ばず六錢引公定五十六錢

▲第三節　當中出來ず先二圓五十四錢より五錢七錢を採み合ひ五錢引公定五十六錢

▲第四節　當限出來ず中二十圓十五錢

▲第五節　當中出來ず先五十七錢

| 現在組高 | |
|---|---|
| 當限 | 六千石 |
| 中限 | 三千石 |
| 先限 | 五萬九千百石 |
| 出來高 | 十二萬四千石 |
| 累計 | 五十九萬二千二百石 |

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町
仲買店
長電話一〇五番　九二六番

仁川米豆取引所仲買人
吉金仲買店
電話長八三番八五番　長七六四番

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町
㊣仲買店
電話二八二長二八三番

# 期米雜觀

持合相場の場向には岐度目の醒める樣な大きい動きが見られると言はれて居る…

# 地方筋の氣預平

## 相當殆ど同輸に

## 貨物を喚起

現下の仕手關係より遡觀すれば[illegible]

# 京城正米市場

| | | |
|---|---|---|
| 二月末 | 一、九〇〇石 | …… |
| 三月中 | 一〇〇石 | …… |

底意は依然軟弱を脫せざるも今朝は多少氣緩りを告げ…

## 一二三十錢方の高唱へ

## 一時的人氣作用

…極度の買控へを敢行し來りし結果今漸く當座の必需に迫ば始め小口ながら弗々買氣を通め來りし結果にして一時的人氣作用に…

## 精米不賣れ安

今朝は玄米氣緩り模樣なるも特白は內地注文不振にて前報大阪沖當の二十六圓五十錢に出來後更に引合ひなく大手精米所は鼓手跡に苦しみ操業上相安を忍び地場に捌場を求めんとする向きもあり氣配は却つて軟調の傾きを呈し市中卸值は普通二十五圓七八十錢を唱ふるも中には五圓近くなる安賣を決行せる向あるが如く一般の氣配も漸次之れが手口の厭迫を受けつゝあり

## 南大門驛着米

二十三四兩日の廻着米左の通りにて頃日來に比し稍々減退を示せり

平澤白米二三〇叺▲同白米八〇叺▲水原白米二七〇叺▲金村玄米二〇〇叺▲同籾四五叺▲白米三〇叺▲平澤粟一六一叺

## 群山正米特電

二月中限二十二圓二十三錢、同末限二十三圓三十錢、現物二十一圓丁度（廿四日）

## 釜山正米特電

### 一二十錢安

休日明けの市場は輸出筋の買注文相當控へ居ると正米筋の買進み傍にしも當局定期の軟弱氣配と今寄附きの入電遲延の爲氣迷ひの姿なりしも結局良二十二圓五十錢所に…

大豆は玄米に連れ軟調を辿り京釜線釜山物十一圓何物十圓九十錢所にて四百叺の商ひ出來せり（廿四日）

## 東京期米特電

| 〇二十四日 | 前場先限 | 後場先限 |
|---|---|---|
| 寄付 | 二六・五〇 | 二六・四二 |
| 二節 | 二六・五五 | 二六・四四 |
| 三節 | 二六・六一 | 二六・四三 |
| 四節 | 二六・六六 | 二六・四三 |
| 五節 | 二六・四八 | 二六・四五 |
| 當限止め | 二十五圓九十錢 | |
| 中限止め | 二十六圓七十九錢 | |

## 大阪期米特電

| 〇二十四日 | 前場 | 後場 |
|---|---|---|
| 當寄 | 二五・六六 | 二五・七五 |
| 止め | 二五・八二 | 二五・九七 |
| 中寄 | 二六・一六 | 二六・二一 |
| 止め | 二六・三五 | 二六・三五 |
| 先寄 | 二六・一六 | 二五・九九 |
| 二節 | [illegible] | [illegible] |
| 三節 | [illegible] | [illegible] |
| 四節 | [illegible] | [illegible] |
| 五節 | [illegible] | [illegible] |
| 六節 | [illegible] | [illegible] |
| 七節 | [illegible] | [illegible] |
| 八節 | [illegible] | [illegible] |
| 九節 | [illegible] | [illegible] |
| 止め | [illegible] | [illegible] |

## 下關期米特電

| 〇二十四日前場 | 寄付 | 止め | 後場寄付 | 止め |
|---|---|---|---|---|
| 當限 | … | … | … | … |
| 中限 | 二三・七五 | … | … | … |
| 先限 | 二三・四〇 | … | 二三・九〇 | … |

## 各地期米特電

〇二十二日後場止め

| | | | |
|---|---|---|---|
| 東京 | 二六・八九 | 大阪 | 二六・三九 |
| 兵庫 | 二六・一一 | 下關 | 二五・五二 |
| 桑名 | 二四・四〇 | 名古屋 | 二五・二九 |
| 熊本 | 二五・六九 | 金澤 | 二三・九〇 |

## 大阪三品特電

| 〇二十四日 | 前場寄付 | 前場大引 |
|---|---|---|
| 一月限 | [illegible] | [illegible] |
| 二月限 | [illegible] | [illegible] |
| 三月限 | [illegible] | [illegible] |
| 四月限 | [illegible] | [illegible] |
| 五月限 | [illegible] | [illegible] |
| 六月限 | [illegible] | [illegible] |

| 〇二十四日 | 後場寄付 | 後場大引 |
|---|---|---|
| 一月限 | [illegible] | [illegible] |
| 二月限 | [illegible] | [illegible] |
| 三月限 | [illegible] | [illegible] |
| 四月限 | [illegible] | [illegible] |
| 五月限 | [illegible] | [illegible] |
| 六月限 | [illegible] | [illegible] |

## 天氣豫報

曇一時晴

## 木浦高女の流感

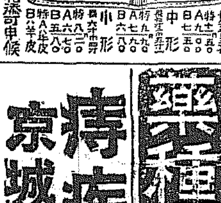
▲期米必勝法傳授
一、月初必勝法
一、小巾法
一、大巾法
百戰百勝の勇者たらんとするの士は速に來つて容易に此秘法を會得し新市（四月限）より直に御出戰あれ
（詳細返信料添附照會）
仁川旅館內
奈義庵

京城本町二丁目（郵便局前）
中村眼鏡店
電話二一七番　振京三四六番

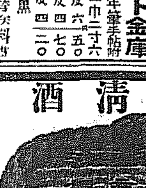
名古屋笹田本店吟醸
清酢

特約販賣
京城明治町二丁目
山邑酒造株式會社京城支店
電話八四九番　一四五四番

旅行事務家商人必携
ライチングケース（實用新案出願）
現今歐米で大流行の三折皮製鞄



體裁優美紳士貴婦人用
フランス形弗入
大形　中形　小形



ポケット金庫

前金送料無料
合名會社井上清商店
大阪市南區末吉橋通一丁目

冷卸發賣
醇良清酒景品
一萬餘圓

合名會社齋藤酒造

痔疾專門
京城久枝肛門病院
京城明治町壹丁目　電話二一〇二

藥種賣藥卸商
北島藥店

理化學諸器械一式

★
資本金壹千萬圓
頭取安田善三郎
京城本町二丁目
株式會社百三十銀行京城支店
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有

上
高田仲買店
仁川海岸町二丁目
高田通信部
△戰機愈々熟す

定期　現物
當店信用
東京株式取引所仲買人
公債株式現物問屋
廣瀨大橋商店
東京日本橋南茅場町
（如何は當店取引銀行三菱銀行丸ノ內支店に御問合せ被下度候）

於釜山座

# 曙

徳田秋聲 作
近藤紫雲 畫

## 第五十回　生さぬ仲（五）

お須磨は萬事母親の吩附ごほりに、好く文平の機嫌を取つて、すつかり老人の氣心を呑み込んでゐたが、偶には其傍から解放されて、自由な身になりたいと念ずることがあつた。修善寺に湯治に行つたのなども、其悩みを幾分なりとも充すために過ぎなかつたが、もとく自分の體にこれと云ふ病氣もないから、さう長く逗留する譯にも行かなかつたし、また絢子のことから辰衛のことから兎角面白くないことばかり見るので――それはお須磨の嫉妬から來てゐるのであつたが――彼女は絢子をおいて、二人先へ歸つて來たのであつた。

文平に隨付かない前は、お須磨は他人が想像するよりも堅氣で、これまで嫌な噂一つ立てられたこともなかつた。そして、出來ることなら、一生獨身で親達の傍にゐたいとさへ望んでゐた――こいふよりも、寧ろ諦めた心になつてゐたのであつたが、年が父子ほごにも違う文平の妻となつて、月日を經るに從つて眠つてゐたような女性の感覺や慾望が、徐らかづ、目覺めて來て、世間の若い夫婦や、戀愛關係にある人の身なぞに、今まで經驗したことのない痛切な羨望を、彼女は感ずるのであつた。

そして、それが何時も絢子夫婦によつて、最も強く刺激されるのであつた。殊に温泉塲に行つてからは、それが一層著しかつた。

今までにも、お須磨は獨身の寂しさと、物足りなさとを感じないことはなかつたけれど、それは此頃のようなものとは違つて、何かしらほんやりと憧れてゐるのに過ぎなかつた。ところが、今はその憧れの對象が、つい目前にあるような氣がして來たのである。そして、それは云ふまでもなく辰衛であつた。

絢子と辰衛の上で、お須磨はそんなことを思ひつゞけた。そして、今夜辰衛が告白した新しい、輝くべき事件についても、考へられないことはなかつたが、それは彼女は、餘り考へたくはなかつた。思ふだけでも厭な氣がしてならなかつた。そして、その念は父の許を離れると、一層強かつた。辰衛にしろ、絢子にしろ、自分がその人達と満更他人でないと云ふことは、何となく嬉しかつたけれども、それ以上に、兄であり、妹であると云ふようなことは、實に厭であつた。お須磨はそれによつて、ある強い壓迫を受けるような氣がした。殊に辰衛に對しては一層お須磨はさうでなかれかしと願つた。と、先達の夜の洋館のことがまた新しく思出された。温泉塲でのある朝のことが、思出された。洋館では何故もつと突込んで、特殊な親しみを付けなかつたか？と、彼女は今でも悔まれてならなかつた。折角の好機會を取逃がして終つたような悔ひと殘念さが湧いた。温泉塲では、些との間だつたけれども、絢子に煩やもゐないで、辰衛と二人きりの時があつた。しかしまだ朝飯を食たばかりのところだつたので、直ぐ散歩に出るのも變だつたし、辰衛が始終もの堅く應待してゐたので、笑談一つきくことが出來なかつた。

『なあに、今に好い機が來る』お須磨は其時然う自分に言つて、當座の諦めをしたのだつた。

『お歸り』俥夫の聲にお須磨ははつと我れに歸つた。見ると俥はもう玄關先へ着けられてゐるのだつた。ばた〳〵と二三人の女中と書生とが、馳出して來て玄關に手をついた。

『お歸り遊ばせ。』

お須磨は瞬揚に通つて、奥へ入つた。

『旦那さまは。』

『もうお寢みになりました。』

『さう。』とお須磨は頷きつゝ『若旦那は。』

『若旦那さまは、もう些と先にお歸りになりました。』

『さう。』

お須磨は、女中とそんなことを言ひながら、廊下を傳つて、ずつと自分の部屋へ通つた。

業務擴張 品質本位　パン　水樂町二　神戸屋

## 川柳　劍花坊選

病

○眼の立つ病氣ぶりに損をさせ　京城　能勝坊
○病上り細つた足を出して見せ　泰川　雨香
○看護婦の腕に縋つた赤ら顔　仁川　吐婿
○病人を金を返さぬ道具にし　京城　修庵
○病上り潮紙を剝ぐ面白さ　仁川　紫影
○お隣の恐日病を持餘し　京城　みの字
○今まアお痩せなすつたご云ひ　仁川　右大臣
○コスモスの散るを見てゐる施療院
評、原句は『散るが淋しい』とされてありましたが、一概にはいへませんが、この句などの場合には淋しいと云つては淋しい感じが薄らぎます。初心の人などは心得なる可き事です。
○病上りつゞ簞にある藥瓶
評、かういふ仕立て方もわるくありません。
○病む母の腰息納豆賣りに出る　仁川　詩腕坊
評、『腰息何かふ納豆屋』としやうかとも思ひましたが『何がふ』がいやですから、原句の儘にして置きました、すこし修辭に無理はあります。

## 和歌　尾上柴舟選

○室の灯の洩るゝさ庭にほうこして雪降るが見ゆ音もかそかに　名島　浪夫
○專念に男石切る赤土の趾府に冬の陽をりくかける
○べに椿咲くか故郷の藪かげのしげみに淡く春の日うけて
○あさ晴れの空すみわたの眞白なる雪の遠山くきやかに見ゆ
○春近み雪間に萌ゆる若草の生命しみ〴〵いとしまれぬる
○ゆき暮れて急ぐ山みち寒々と麓の村に灯のつきそめぬ
○あわたゞしく枯草の上かけおこし一羽の鴉鳴かで飛びゆく

## 讀者と記者

△困窮翁さん大正館まで御出で下さいませんか御相談申上度い事がありますから
△記者様へ御伺ひ申します私は毎度五の日十の日の俳句を拜讀致しまして非常に面白く感じて居ります五の日十の日へは素人でも入會が出來ますか入會費は入るのですか又會場はどちらでありますか御知らせを願ます（新派生）△貴意… 目な方なら誰でも歡迎します（…）金町四丁目大久保商會内の彼氏苑に御尋ね下さい（記）△貴社でやつて居られる聯絡の名稱及び通聽生には何程を要するのでせうか… なるべく早く讀者欄にてお知らせ下さい、そして一回の… 知らせ願ます。私は慢性皮膚病で困つて居るのです（一讀者）△一讀者へ、Kらしき光線アリアサデレーミーと云ひます費用は普通劇團五十錢位です皮膚病には大抵奏功が有ります、係△渡來するには教育の有無に關らず渡來が出來ますか或人より教育がないものは渡來が出來んと云ひますそれは本當ですか（不明生）△鳥致院… 雜誌街に昔く… 改造九月十月特別號御必要なら何時にても適當の價格にて譲り申す御申越あれ（木浦測候所原田生）

## 演藝案内

**黄金館**　黄金町　電二六三七
當る一月十九日より新春特別大興行
△連續活劇 魔人 第十一、十二篇 四巻上場 全三十三巻の内第十一回目
＝大滑稽 チャップリンの野遊び 全一巻
△舊劇 忍術 前田犬千代 全五巻 市川延十郎 四郎五郎劇
△連續大活劇 世界の眼 第八、九篇 四巻上場 全三十巻の内第四回目
エジプトに於て海賊團の爲め捕はれたるペッティ嬢砂漠の眞中にて王の御食になさんとす殘忍なる酷黒の命令！次第に彼等は降きる地平線の彼方から開ゆる可憐なるペッティの救ひ！驛ご猛獣の身體を現はさぬ怪や果して何者
△新派大悲劇 血の涙 最長全八巻
我名優が五味國太郎… 文豪穗積藤花先生の大傑作… 初見參… 涙から出し愛活家の御滿足を得る爲め 普通入場料
一月十五日日曜祭祝日晝夜二回開演

**喜樂館**　本町一丁目　電話九七三番
當る一月廿一日より三大映畫封切
◎滑稽 氣拔マックス
新派悲劇 暴風雨の夜 …
新國劇 新大活劇 ルスの冒險 全三十一巻
…

**大正館**　井町　電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
當る一月廿日より三大寫眞公開
◎ニコ〳〵劇 小動物の曲藝 長尺
◎新派教訓劇 『噫松本訓導』 長尺
東京府下… 松本虎雄氏が一生徒を救はんとして殉死せる慘事的一大教訓劇
◎日活向島派新派 『呪の家』 全二十巻 …
◎大活劇 『生不動』 全七巻 …
◎入場料は特に普通

**浪花座**　本町五丁目 電車終點　電話三三八番
當る二十四日より
忠臣藏 全通し
入場料 二階二等席五十錢平場一圓
寶録仙臺萩 六幕
大森彦七 …

## 金より大事の ひみつ辭典

ここ等は決して人にきけないことはなせないことも敎へられないつゞこの本を見ればすぐに解る様に、わしく説明してあるが故にわかき男女の冬の夜長に必讀すべき最大幸福最大快樂書である本書は定價二圓三十錢なれど今回割引一圓八十錢にす希望者は至急申込あれ代金引換二圓四錢前金送料共一圓八十八錢
東京京橋北紺屋町一の一
振替東京三七一
千代田出版部
◎北際外着社文三百名限り紙幣型美人寫眞一部無代進呈す

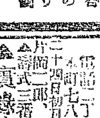

## 大木耳鼻藥

耳だれ、耳鳴、耳痛、耳道炎、内濕疹、耳垢、耳加答兒、鼻たれ、鼻加答兒、蓄膿性鼻炎、肥厚性鼻炎、其他耳鼻の諸病一切に効あり
藥價一圓五十錢 三十錢 三十錢
東京神田鍋町
大木合名會社
振替東京四八〇
各地著名藥店に有



## 中風病

余が家は祖父及び父と田の三代相傳の秘法… 名記入ハガキにて照會の方に千人を限り名上題字の…
播州明石市中町九　加古…


## 有田ドラッグ

**りん病　ばい毒**　讀合藥
特別八円　並三円　送料十二錢
特別四円　並二円　送料十二錢

◎淋病藥王藥は治淋劑とし梅毒藥王藥は驅梅内服藥として醫藥學上最有効と確定し歐米醫科大學帝國大學病院等にて賞揚配劑せる高貴藥なるを保証す若し前述の証言に違へる事を發見せる時は分析料百圓進呈
◎あらゆる治療を試すも効なき患者は兎に角一度來談あれ

本舗 東京大阪 有田音松
東京日本橋通四丁目
大阪心齋橋筋本町
發賣所 有田ドラッグ 京城南大門外電車通
朝鮮專賣所 有田ドラッグ 長電話二五六七◎振替京城三六七

### 鮮滿專賣所
京城黄金町電車通
仝 鐘路十字街
龍山三角廣場
釜山辨天町二丁目
群山東榮町
木浦榮町
元山本町二丁目
平壤道廳正門向
鎭南浦三和町
仁川宮町二丁目
大邱弓町停車場通
咸興本町二丁目
晋州大安洞
安東縣市場通
長春城内大馬路
奉天松島町
滿洲專賣所 大連岩代町磐城町角 有田ドラッグ

にせドラッグ　有田ドラッグ

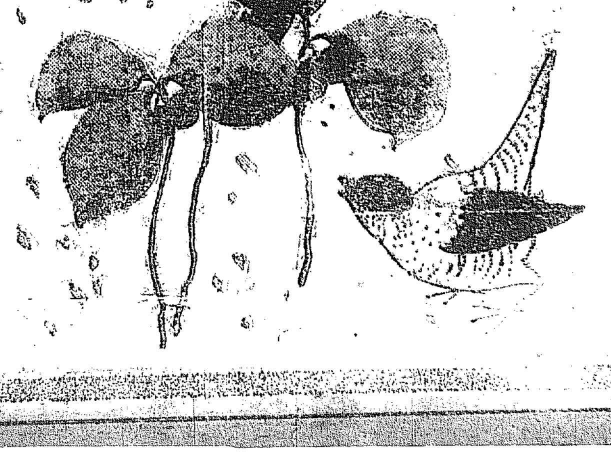


## たんせき專門

最高級新藥
大學實用の洋藥並に民間秘方の研鑽に成れる和藥
たんせき喘息專門
リッソ
一大特長
永年の痼疾にして他藥にて全治せざるたんせき喘息に用ひて奇効を奏す
ぜんそく　奇方
價廿錢、卅錢、五十錢、一圓
大阪、東京、上海
本舗 高橋盛大堂藥局
◉到る所の藥店に販賣す

活々
若々
として生きて行かねばならぬ婦人の前に其營養飲料として葡萄酒赤玉あり皮膚の生彩も筋肉の豊麗も唯赤玉の一杯にある！を知り給へ

## 赤玉ポートワイン


▽清い白さと自然の肌色
正しい化粧料

## 肌白美顔水

（白色美顔水の姉妹品）

お化粧上手な人々の間には昔から色々の化粧料が使はれて居りました。それが近頃では大抵肌色になつて、肌白美顔水は大變に好評を以て迎へられて居ります


汽車　京釜線　京義線　京元線　湖南線　馬山線　[illegible]

大正九年十一月一日